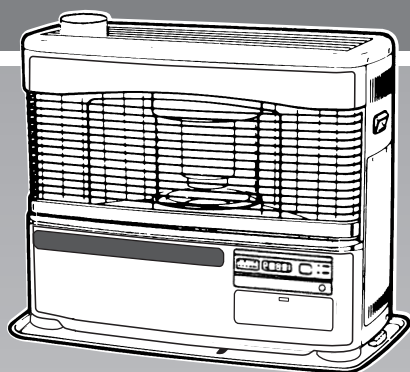


CORONA

コロナ半密閉式石油ストーブ 取扱説明書

正しく使って上手に節約



このたびは、コロナ石油ストーブをお買いあげいただき、まことにありがとうございました。正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

なお、お読みになった後もお使いになる方がいつでも見られる所に「保証書」と共に大切に保管してください。



ユーエイチ
UH-7711PR
エス ブイ
SV-7011PR
ピーアール
ピーアール

もくじ

取扱編	ページ
1. 特に注意していただきたいこと (安全のために必ずお守りください)	1～4
2. 使用する場所	4
3. 各部の名称	5～7
4. 使用前の準備	8～10
5. 使用方法(使い方)	10～18
6. 安全装置	18
7. その他の装置	19
8. 日常の点検・手入れ	20～24
9. 定期点検	24
10. 故障・異常の見分け方と処置方法	25～26
11. 部品交換のしかた	27
12. 保管(長期間使用しない場合)	27
13. 仕様	28～29
14. アフターサービス	29
15. 据付け・移設	30～32
工事編	
1. 特に注意していただきたいこと (安全のために必ずお守りください)	33～34
2. 開こん	35
3. 据付け	35～36
4. 煙突の取付け	37～38
5. 試運転	38
6. 破棄するときの注意	38



株式会社 **コロナ**

1. 特に注意していただきたいこと (安全のために必ずお守りください)

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

- 警告** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
- 注意** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は注意を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容(左図の場合は一般的な注意)が描かれています。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合はガソリン禁止)が描かれています。



①記号は行為を指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

警告(WARNING)

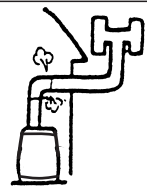
●ガソリン厳禁

ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。
火災の原因になります。



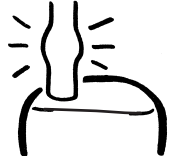
●煙突外れ危険

煙突が外れたまま使用しないでください。
外れていると運転中に排ガスが室内に漏れて、危険です。



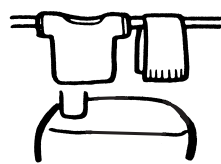
●煙突閉そく危険

煙突がつまったり、ふさがれたまま使用しないでください。
閉そくしていると運転中に排ガスが室内に漏れて、危険です。



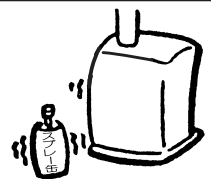
●衣類の乾燥厳禁

衣類などの乾燥には使用しないでください。
衣類が落下して火がつき、火災の原因になります。



●スプレー缶厳禁

スプレー缶やカセットこんろ用ボンベなどをストーブの上や前に放置しないでください。熱で缶の圧力が上がり、爆発して危険です。



●低温やけどに注意 (UH-7711PR)

長時間皮膚の同じ場所に触れないでください。
比較的低い温度でも低温やけどや脱水症状の原因となります。

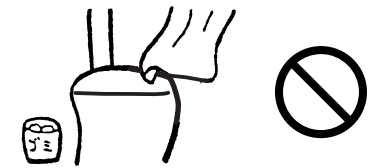


1. 特に注意していただきたいこと (安全のために必ずお守りください)

注意(CAUTION)

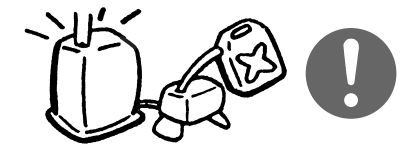
●カーテン、寝具など可燃物近接禁止

カーテン・布団や毛布など燃えやすいもののそばなどで使用しないでください。
火災が発生するおそれがあります。
可燃物との離隔距離については30ページを参照してください。



●給油時消火

火災のおそれがありますので、給油は、必ず消火し、火の気のない
ところで行ってください。



●油漏れ確認

油タンク・ゴム製送油管・接合部・給油コックおよび機器などからの灯油漏れがない
ことを確認の上ご使用ください。灯油が漏れていると火災のおそれがあります。



●異常時使用禁止

万一異常を感じたときは使用しないでください。
異常燃焼のおそれがあります。



●高温部接触禁止

燃焼中や消火直後は、高温部(粹上部、前面ガードなど)、排気筒(煙突)に手などふれないでください。
やけどのおそれがあります。



●やかんのせ禁止

やかんなどをのせないでください。
振動や接触によってやかんの熱湯がこぼれ、やけどのおそれがあります。



●分解修理の禁止

故障、破損したら、使用しないでください。
不完全な修理は、危険です。



●腰をかけたり物をのせない

機器の上ののったり、腰をかけたりしないでください。機器の故障や、やけどのおそれがあります。機器
の上に花びんや水を入れたものなどを置かないでください。水がかかると漏電や故障のおそれがあります。



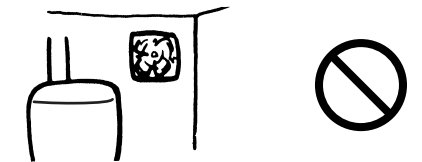
●改造使用の禁止

改造して使用しないでください。また、ストーブや煙突には床暖房用の熱交換器などを取り付けない
でください。火災や排ガスが室内に漏れる原因となり危険です。



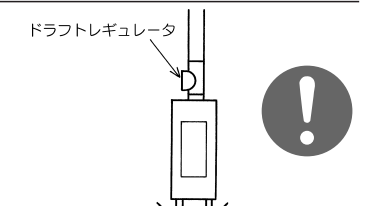
●換気扇使用禁止

ストーブを使用している同室内で換気扇を使用しないでください。
立消えして爆発燃焼するおそれがあります。
また、換気口・給気口は常に確保し、物などでふさがないでください。



●ドラフトレギュレータの取り付け

煙突の引き(ドラフト)が強いと燃焼不良が発生します。次の煙突設置の場合は
必ずダブルドラフトレギュレータ(別売品DR-1)を取り付けてください。
・集合煙突に接続する場合・標準寸法以上に立ち上がりが高い場合
・風が強くて炎が沈むような場合



●特殊用途には使用しない

食品・精密機器・美術品の保存や、動植物の飼育・栽培などには使用しないでください。



1.特に注意していただきたいこと(安全のために必ずお守りください)

⚠️ 注意(CAUTION)

●電源コードを傷めない

電源コードに無理な力を加えたり、物をのせたりしないでください。
また、電源プラグを抜くときは、コードを持って引き抜かないでください。
火災や感電の原因になります。



⊘

●電源プラグは確実に差し込む

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。
また、傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。火災の原因になります。ぬれた手で抜き差ししないでください。感電の原因になります。



!

●長期間使用しないときは電源プラグを抜く

長期間使用しないときまたは保管するときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や予想しない事故の原因になります。



→

●電源プラグのお手入れをする

ときどきは電源プラグを抜き、ほこり及び金属物を除去してください。
ほこりがたまると湿気などで絶縁不良になり火災の原因になります。

!

●灯油の保管

灯油は、火気、雨水、ごみ、高温および直射日光を避けた場所に保管してください。
ガソリンなどと一緒に保管しないでください。
誤って使用すると異常燃焼や火災のおそれがあります。

!

●変質灯油禁止

変質灯油、不純灯油（汚れた灯油、水の混じっている灯油など）を使用しないでください。
異常燃焼や故障のおそれがあります。

⊘

●シスターンの水位に注意 (UH-7711PR)

循環水は少しずつ蒸発します。
1ヶ月に1回程度は、シスターンタンクの水位が規定水位にあることを確認し、不足している場合は補充液を補給してください。
上限水位以上は、入れないように注意してください。
(床暖パネルを接続しない場合は、循環水は不要です。)



!

●カーペットのはがれに注意 (UH-7711PR)

カーペットがずれたり、めくれたまま使用しないでください。
床パネルに直接触れるとやけどのおそれがあります。



!

●循環液（循環水・不凍液）の保管に注意 (UH-7711PR)

幼児の手の届かない所に保管してください。
万一飲んだ場合には吐かせて、医師の診断を受けてください。



!

●初めてお使いになるときの注意

初めてお使いになるときは、耐熱塗料などが焼き付くまで煙と臭いが出ます。
しばらくの間、窓をあけて部屋の換気をおこなってください。
また、小鳥や小動物などに影響する場合がございますので、この間は部屋に入れないでください。

!

●外出する時は消火

外出のときは、必ず運転を停止し消火してください。

!

●可燃物との距離を離す

可燃物との離隔距離については、標準据付け例（30ページ）を参照してください。

!

1.特に注意していただきたいこと(安全のために必ずお守りください)

お願い(NOTICE)

●機器を廃棄するときの注意

ストーブを廃棄処分するときは、必ず定油面器の灯油を抜き取ってください。（21ページ）
灯油が入ったまま廃棄するとリサイクルの際に思わぬ事故になるおそれがあります。

●灯油の廃棄

灯油の廃棄処分は、灯油をお買い求めになった販売店にご相談ください。

2.使用する場所

ストーブを安全に使用するためには、場所の選定が大切です。

安全に使用するために



⊘

⊘

⊘

●マントルピースなどには据付けないでください。

●標高が1000 mを超える高地では使用しないでください。
(空気の濃度が薄いため、燃焼に必要な空気が不足します。)

●クリーニング店、美容院などの化学薬品を使用する場所では使用しないでください。化学薬品などの影響により、異常燃焼や故障の原因になります。

●温室、飼育室など、動植物の育成栽培に使用しないでください。

効果的に使用するために



冷氣

暖气

●冷気の入ってくる方向、例えば窓側などに置くと、冷気がストーブで暖められて対流しますので、効果的です。

出入口など人の通るところは、ぶつかる危険ですので避けてください。

●部屋の保温を工夫し、部屋の温度の調節を心がけましょう。

ストーブの前面に障害物があると、部屋の温度にむらができるばかりでなく、ふく射熱によってストーブ本体の温度が上昇して危険です。
使用場所には十分注意して効果的に使用してください。

3

4

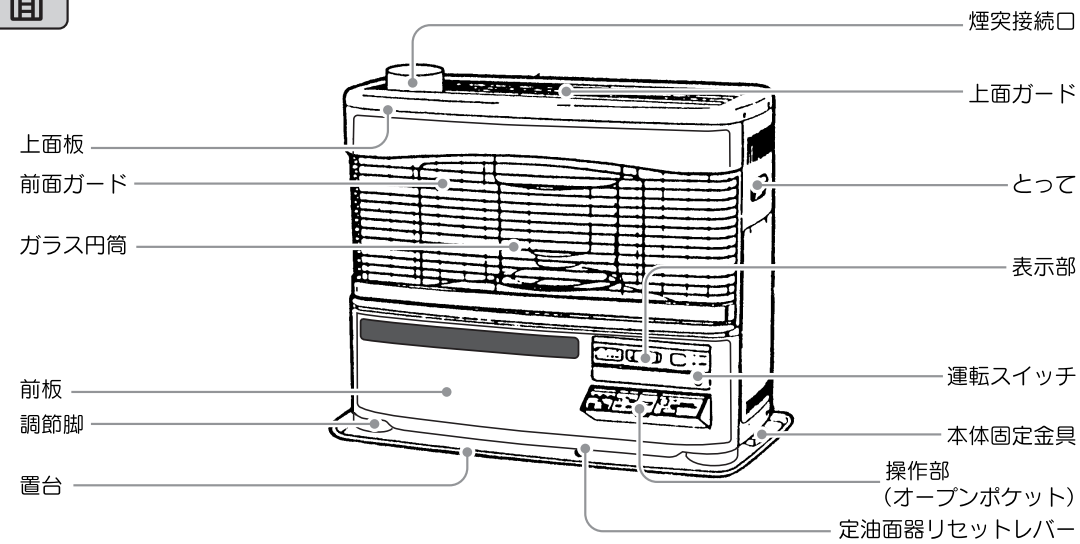
3.各部の名称

3.各部の名称

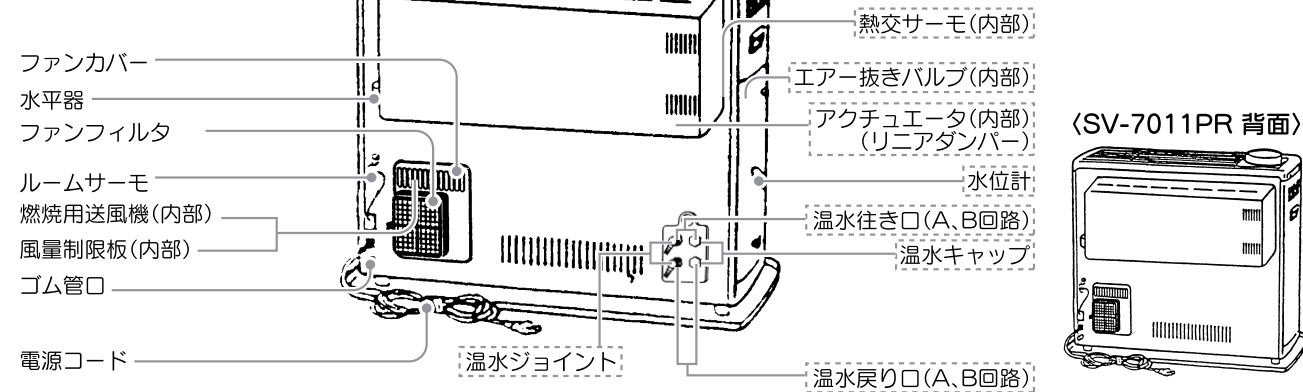
外 観 図

はUH-7711PRのみ対象です。

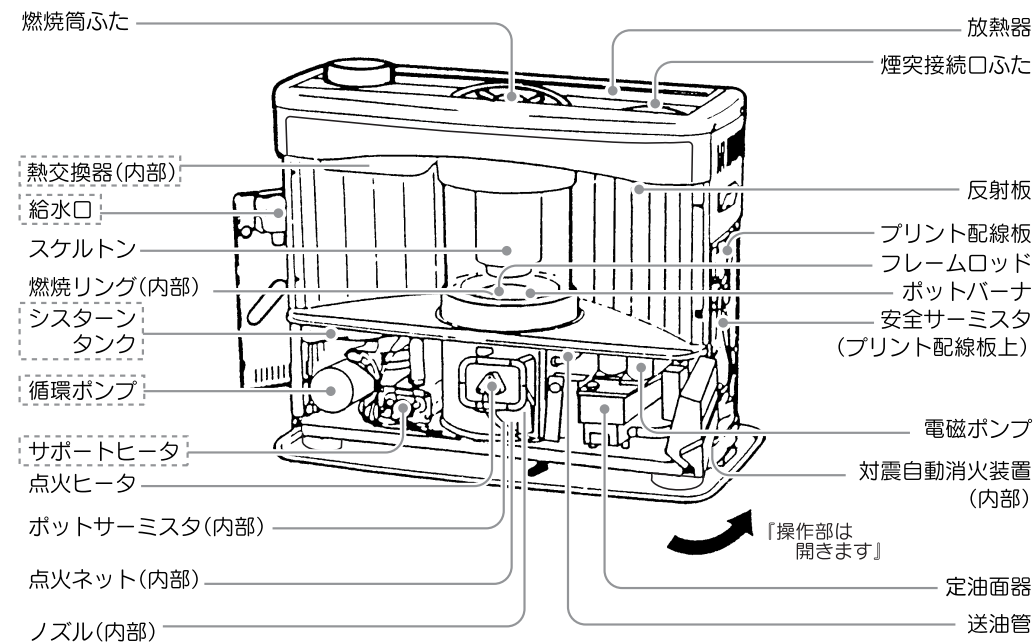
正 面



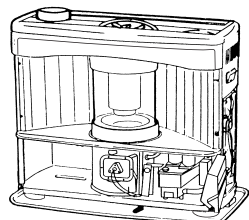
背 面



構 造 図



〈SV-7011PR 構造図〉



表示部の名称と働き

■ 運転停止中およびタイマー運転中は節電のため表示の明るさ(輝度)が落ちます。

注) ※印はUH-7711PRのみ対象です。

※ 設定床温表示ランプ (緑)

- ・ 床温調節ボタンで設定した床温を表示します。
- ・ 床暖房運転時に点灯します。
- ・ 左から3個目のランプが点灯したときは適温設定になります。

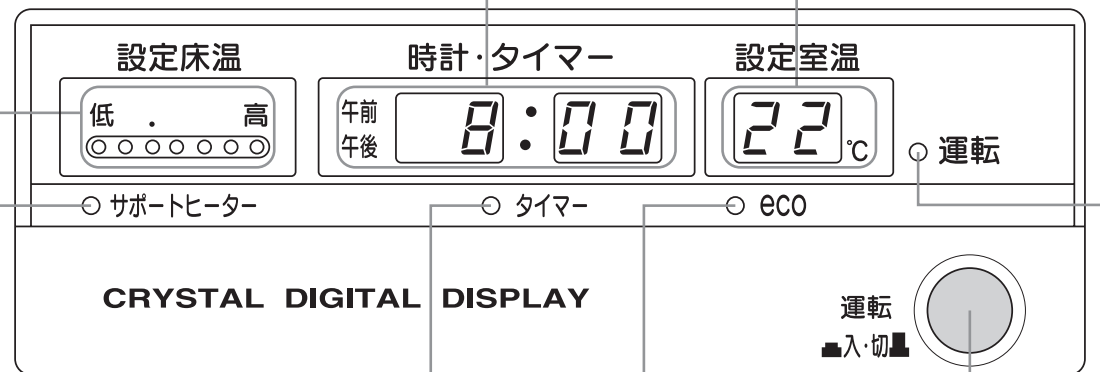
時刻表示 (緑)

- ・ 通常は現在時刻を表示します。
- ・ タイマー運転時はタイマーセット時刻を表示します。

設定室温表示 (緑)

- ・ 室温設定ボタンで設定した室温をデジタル表示します。
- ・ ストープにトラブルが発生すると、トラブルの状態が記号表示 (自己診断モニタ) されます。

〈UH-7711PR〉



※ サポートヒータ 運転ランプ (赤)

- ・ サポートヒータ運転中は点灯します。
- ・ サポートヒータ運転停止中は消灯します。

タイマー表示ランプ (緑)

- ・ タイマー運転中は点灯します。
- ・ タイマー運転停止中は消灯します。

eco運転表示ランプ (緑)

- ・ eco (エコ) 運転中は点灯し、解除すると消灯します。

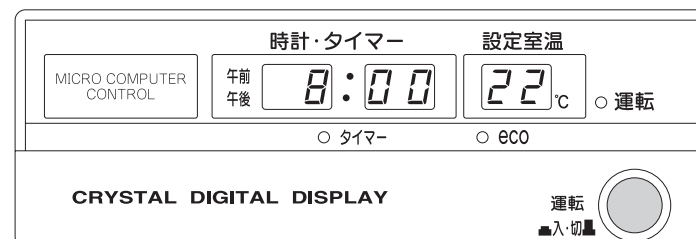
運転ランプ (緑)

- ・ 運転スイッチを押す (■) と点灯します。
- ・ もう一度押す (■) と消灯します。

運転スイッチ

- ・ 押す (■) と運転 (点火) します。
- ・ もう一度押す (■) と消火します。

〈SV-7011PR 表示部〉



3.各部の名称

オープンポケット内操作部の名称と働き

■オープンポケットの開閉

- オープンポケットを軽く押しこむと、ゆっくり開きます。操作後、軽く押しもどすとロックして止まります。

操作するとき以外は、閉じてご使用ください。

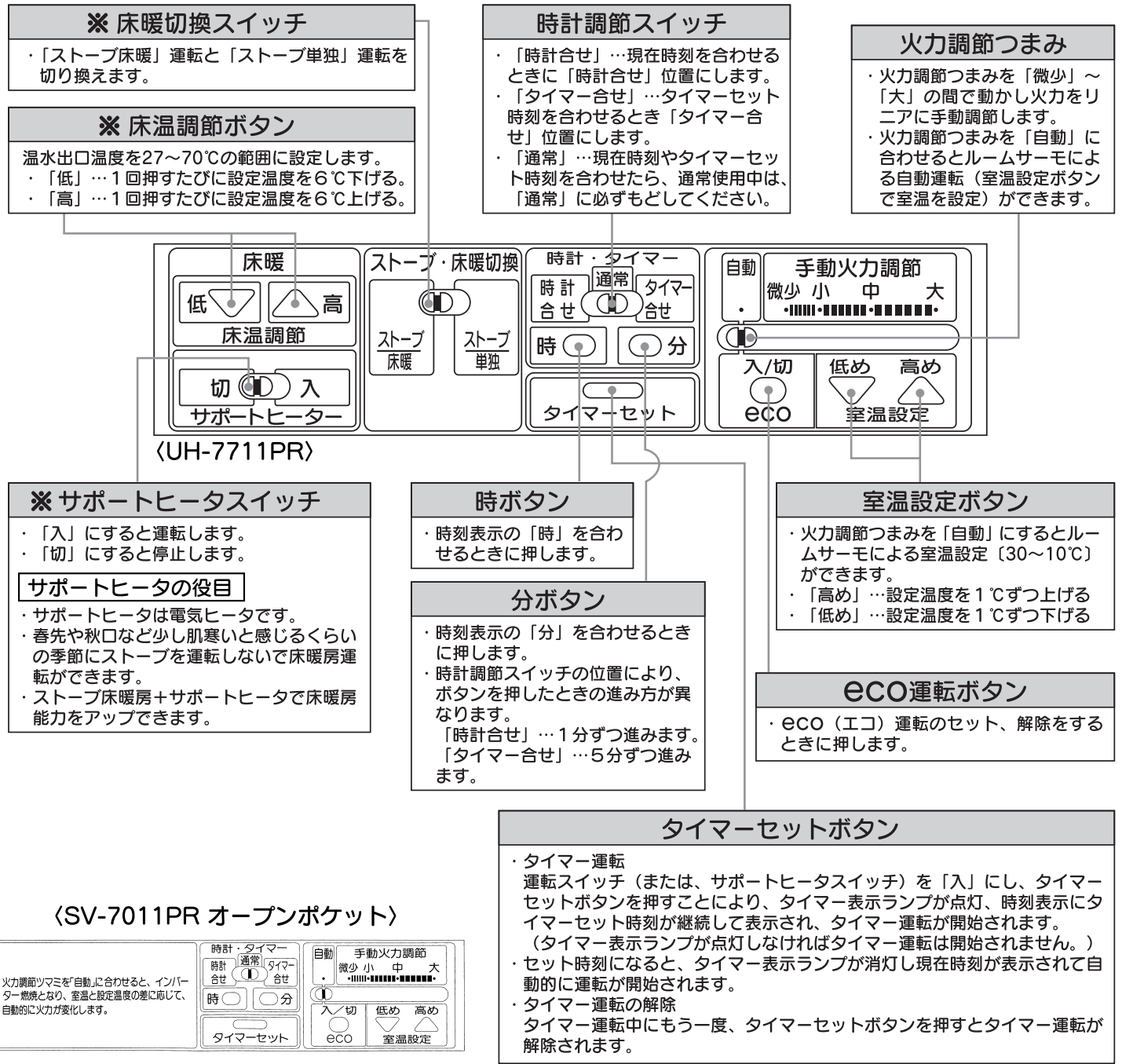
■操作音について

- 操作ボタンを押すとピッと音がします。
- 誤操作をするとピッ音が2回します。

■表示部の明るさ調節

- 時計調節スイッチを「通常」に合わせて「時ボタン」を押しながら「分ボタン」を押すことにより、表示部の明るさを調節することができます。
(このときピッ音が2回しますが、誤操作ではありません。)

注) ※印はUH-7711PRのみ対象です。



4.使用前の準備

燃 料

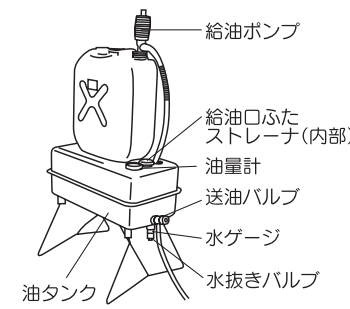
燃料は灯油（JIS 1 号灯油）を必ず使用してください。

- ⚠警告** ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。火災の原因になります。
- ⚠注意** 変質灯油、不純灯油などは絶対に使用しないでください。
- ⚠注意** 灯油は必ず火気・雨水・ごみ・高温および直射日光を避けた場所に保管してください。ガソリンなどと一緒に保管しないでください。誤って使用すると異常燃焼や火災のおそれがあります。

ご注意 ●変質灯油、不純灯油が原因で修理をされたときは、保証期間中でも保証の対象外となります。
●変質灯油の処理でお困りの場合は、灯油をお買い求めの販売店にご相談ください。

給 油

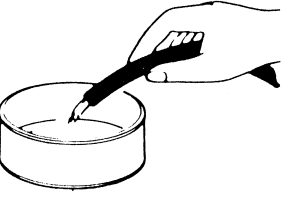
■給油の際の手順と注意



- ⚠注意** 給油は必ず消火してからおこない、こぼれた灯油はよくふきとってください。火災のおそれがあります。
- 送油バルブを閉じて給油口ふたを外し市販の給油ポンプで給油してください。油量計の針が「満」をさしたら給油をやめてください。給油後は、給油口にあるストレーナを取り出して、水やごみがたまっていたら掃除してください。
- ストレーナを取り付けて、給油口ふたを必ずもとどおり締めてください。
- 給油の際は、水・ごみなどを入れないように注意してください。水・ごみなどは燃焼不良や、ストーブの寿命低下などの原因になります。
- 給油口ふたは、確実に締めてください。
- ⚠注意** 火災のおそれがありますので、給油は、必ず消火し、火の気のないところでおこなってください。

■燃料切れの注意と空気抜きの方法

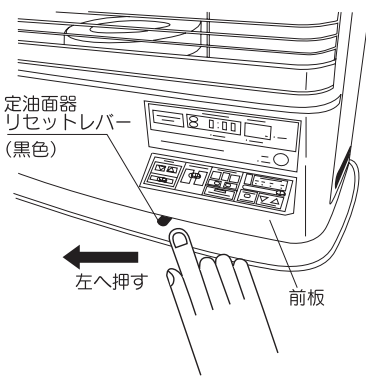
油タンクを空にしないように注意してください。
油タンクを一旦空にしますと、送油経路内に空気がたまり、正常に送油ができなくなることがあります。
このような場合は次の順序で空気抜きをしてください。



1. 送油バルブを閉め油タンクに給油します。
2. ストーブのゴム管口から、ゴム製送油管を外します。
3. 送油バルブを開けゴム製送油管から灯油が連続して流れ出ることを確かめてからゴム製送油管をもとどおりにストーブに取り付けます。（灯油がこぼれないように容器を用意してください。）

運転開始前の準備と確認

■安全装置のセット、取扱上の注意



定油面器のセット

初めて使用するときやシーズン初めには、ストーブ正面右下の定油面器リセットレバー（黒色）を左方向に止まるまで押してください。

- リセットレバーは据付け時やシーズン初めに操作します。定油面器に強い衝撃を与えたり異常があったとき以外は、特に操作する必要はありません。
万一点火操作後灯油が出ずにモニタサインE 1またはE 2が表示されるような場合はリセットレバーを押してください。
（安全弁が外れ、灯油がスムーズに流れます。）
- リセットレバーは乱暴に扱ったり、押したままの状態には絶対にしないでください。

運転開始前の準備と確認

送油経路の油漏れの確認

- **注意** 油タンク・ゴム製送油管・接合部・給油コックおよび機器などから灯油漏れがないことを確認の上ご使用ください。灯油が漏れていると火災のおそれがあります。
- 油漏れのあるときは使用を中止し、油タンクの送油バルブを閉じてからお買い求めの販売店または、お近くのコロナサービスセンターにご相談ください。

電気配線の確認

- **注意** 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。
- 電源コードが給排気筒などの高温部にふれるおそれのないことを確認してください。

ご注意 電源プラグ・コードの発熱・発火を防ぐために…

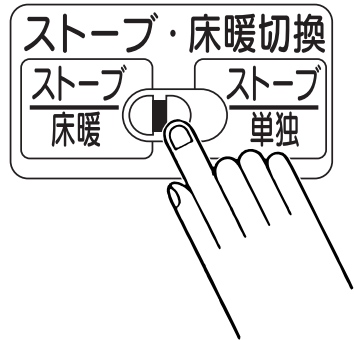
- 電源は必ず適正配線された単相100Vコンセントを使用してください。
- 電源コードは、途中で接続したり延長コードの使用・他の電気器具とのタコ足配線をしないでください。

点火の要領と注意 UH-7711PR

床暖切換スイッチのセット

ストーブ単独で運転する場合は「ストーブ単独」に、ストーブ床暖房運転をおこなう場合は「ストーブ床暖」に、床暖切換スイッチをセットしてください。床暖切換スイッチのセットは運転開始前におこなってください。

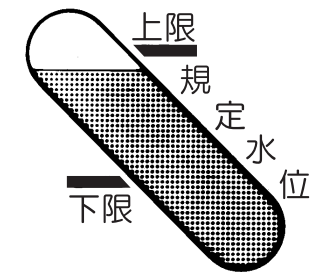
● ストーブ床暖房で運転する場合



● ストーブ単独で運転する場合



循環水の水位確認



- **注意** ストーブ左側面の水位計で、シスターンタンクの規定水位（上限水位と下限水位の間）まで循環水（コロナ床暖房用循環液）が入っていることを確認してください。循環水が入っている場合は黄色になります。循環水は上限以上入れないように注意してください。循環水を上限以上入れると使用中に循環水があふれることがあります。水位が下限以下の場合は、床暖房専用補充液を入れてください。

温水配管の水漏れの確認

- ストーブ内部や温水配管接合部から水漏れがないか確認してください。
- 床暖パネルの温水配管の途中にバルブを取り付けた場合は、必ずバルブが開いていることを確認してください。

運転中に床暖切換スイッチを操作した場合の注意

- **ストーブ単独→ストーブ床暖** …自動的に一旦消火して、約10分後に再点火し、ストーブ床暖房運転を開始します。そのとき、「ジュー」という循環水の蒸発音が発生することがありますが異常ではありません。
- **ストーブ床暖→ストーブ単独** …運転はそのまま継続します。しばらくして「ジュー」という循環水の蒸発音がしますが異常ではありません。

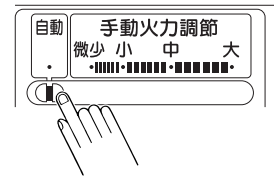
5.使用方法(使い方)

運転開始(点火)

- オープンポケット内の火力調節つまみで「自動運転」と「手動運転」が設定できます。ご希望の運転方法でご使用ください。

点火順序

ストーブ火力調節「自動運転」の場合



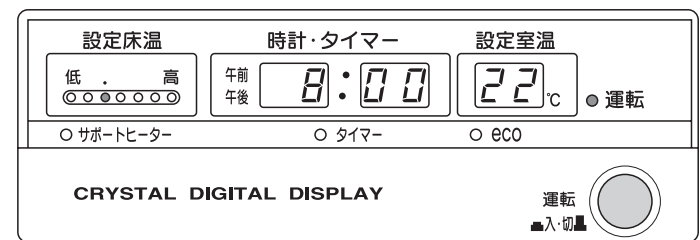
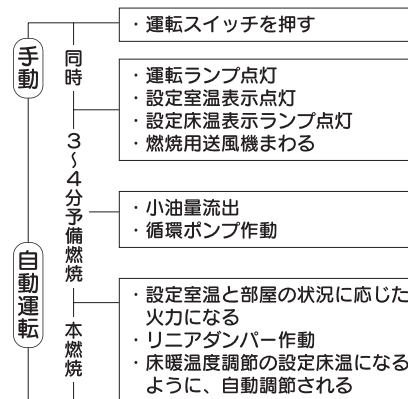
- 火力調節つまみを「自動」に合わせてください。設定室温と部屋の状況に応じた火力で燃焼します。
- 時計合せは15ページ「現在時刻の調節方法」を参照しておこなってください。

UH-7711PR

ストーブ床暖房運転



1. 時刻表示が現在時刻を表示していることを確認してください。
2. オープンポケット内の床暖切換スイッチを「ストーブ床暖」に合わせてください。
3. 運転スイッチを押して「入」にしてください。約3～4分間の予備燃焼が終わると本燃焼になります。



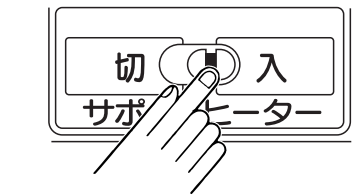
- ※ 予備燃焼後約2.5分間、火力は中火力になります。
- 予備燃焼時に黄色い炎（赤火）が混じる場合がありますが、異常ではありません。

運転開始（点火）

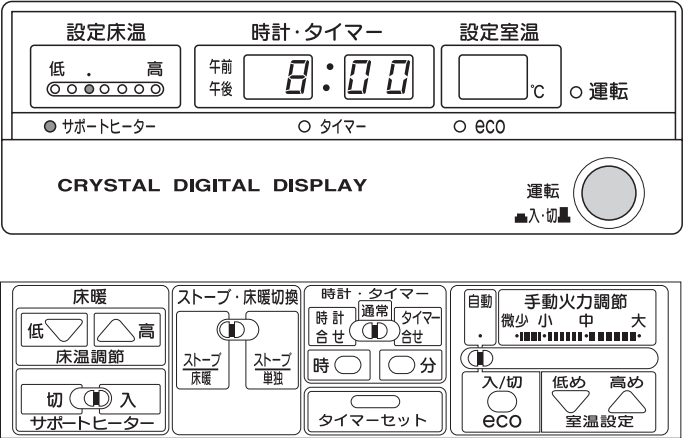
UH-7711PR

サポートヒータ運転

- サポートヒータは電気ヒータです。春先や秋口など少し肌寒いと感じるくらいの季節にストーブを運転しないで床暖房運転ができます。



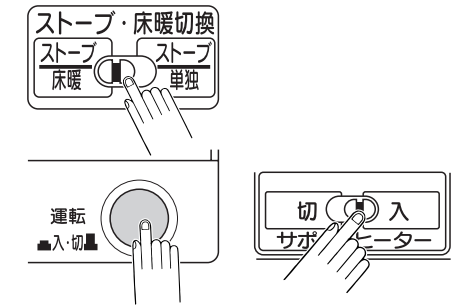
- 時刻表示が現在時刻を表示していることを確認してください。
- オープンポケット内のサポートヒータスイッチを「入」にしてください。次のように運転します。



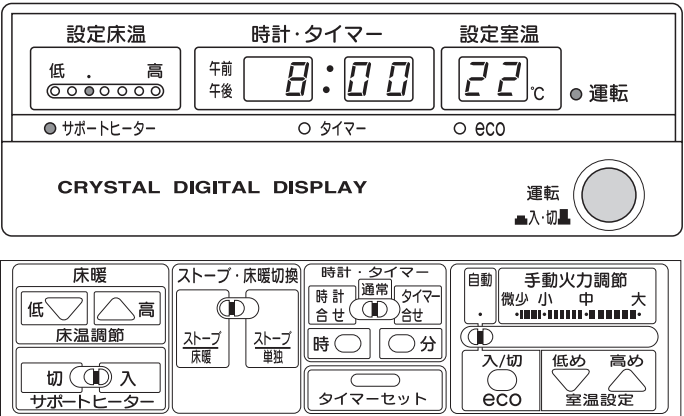
UH-7711PR

ストーブ床暖房・サポートヒータ併用運転

- ストーブ床暖房プラスサポートヒータで床暖房能力をアップできます。



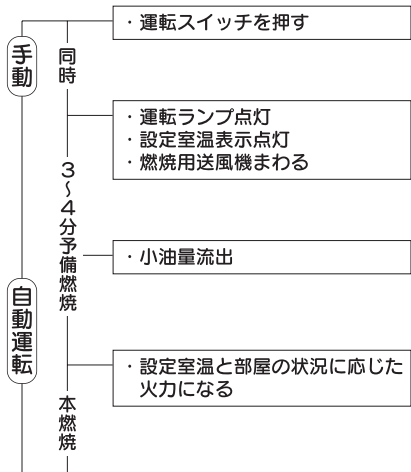
- 時刻表示が現在時刻を表示していることを確認してください。
- オープンポケット内の床暖切換スイッチを「ストーブ床暖」に合わせてください。
- 運転スイッチを押して「入」にしてください。
- オープンポケット内のサポートヒータスイッチを「入」にしてください。約3～4分間の予備燃焼が終わると本燃焼になります。



- ※予備燃焼後約2.5分間、火力は中火力になります。
- 予備燃焼時に黄色い炎（赤火）が混じる場合がありますが、異常ではありません。

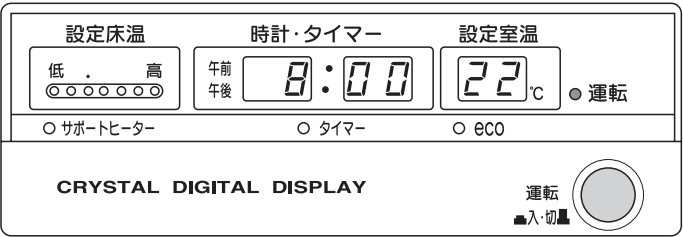
UH-7711PR SV-7011PR

ストーブ単独運転



- 時刻表示が現在時刻を表示していることを確認してください。
- オープンポケット内の床暖切換スイッチを「ストーブ単独」に合わせてください。（UH-7711PRのみ対象です。）
- 運転スイッチを押して「入」にしてください。約3～4分間の予備燃焼が終わると本燃焼になります。

※図はUH-7711PRで説明しています。



- ※予備燃焼後約2.5分間、火力は中火力になります。
- 予備燃焼時に黄色い炎（赤火）が混じる場合がありますが、異常ではありません。

■ストーブ火力調節「手動運転」の場合

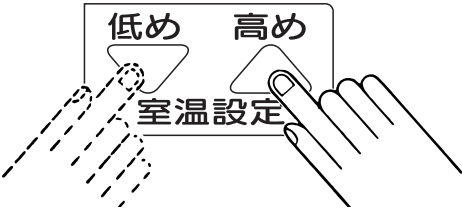


- オープンポケット内の火力調節つまみを「微小」～「大」の間のご希望の位置に合わせてください。表示部の設定室温表示が消え、予備燃焼が終了すると火力調節つまみの設定火力で燃焼します。ただし、予備燃焼後、約2.5分間は最大火力になりません。
- 予備燃焼時に黄色い炎（赤火）が混じる場合がありますが、異常ではありません。

- 運転スイッチを「入」にしたとき、運転ランプが点灯せずにタイマー表示ランプが点灯する場合は、タイマー運転になりますので、タイマーセットボタンを押してタイマー運転を解除してください。
- 燃焼中に運転スイッチを押して「消火」にしたり、タイマーセットボタンを押すなどして約1秒以上通電を止めると自動消火し、約2分間の冷却の後でないと再点火できません。

室温の調節（自動運転）

オープンポケット内の火力調節つまみを「自動」に合わせると、ルームサーモによる自動運転となり、設定室温に自動調節されます。表示部に設定室温（22℃）が表示されますので次のように調節してください。

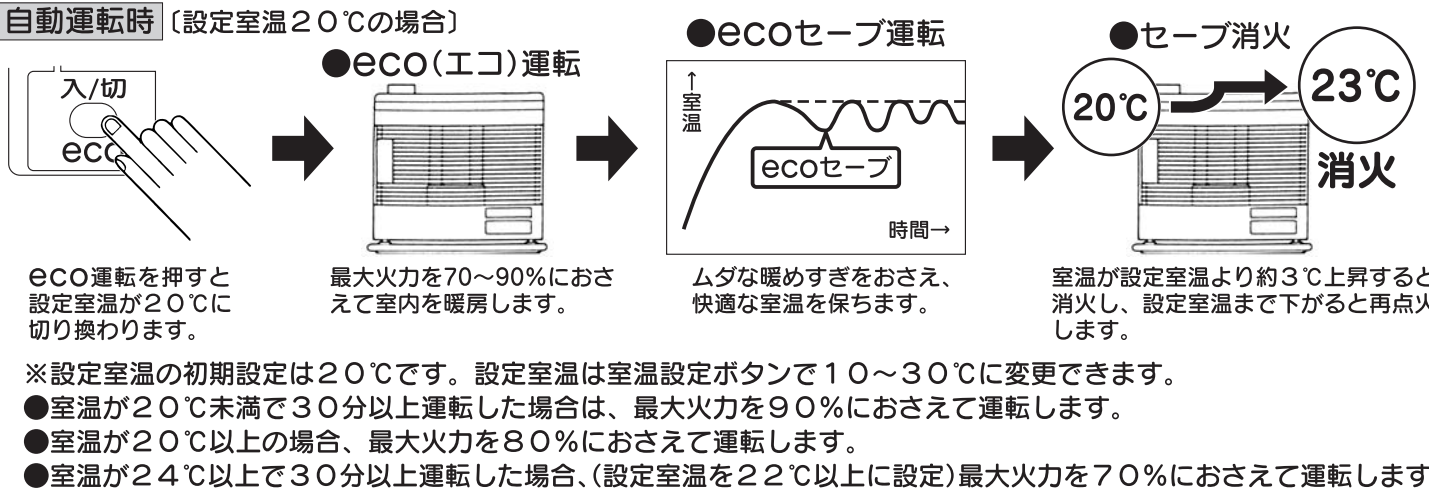


- 室温設定ボタン「高め」を押すたびに1℃上がります。（上限30℃）
- 室温設定ボタン「低め」を押すたびに1℃下がります。（下限10℃）

- 自動運転時に微小火力でも室温が設定室温より上昇する場合、設定室温より3℃上昇すると自動的に消火するeco（エコ）運転をおすすめします。（13ページ eco（エコ）運転の項を参照してください）室温が設定室温より3℃上昇すると消火し、お部屋のムダな暖めすぎをおさえます。

eco（エコ）運転

eco（エコ）運転は、自動運転時にeco運転ボタンを押すとご希望の設定室温に切り換わり、セーブ消火とecoセーブ運転でムダな暖めすぎをおさえ、経済的で快適な室温を保ちます。
また、自動運転時は最大火力を70～90%、手動運転時は最大火力を80～90%におさえてお部屋を暖めすぎないように運転します。

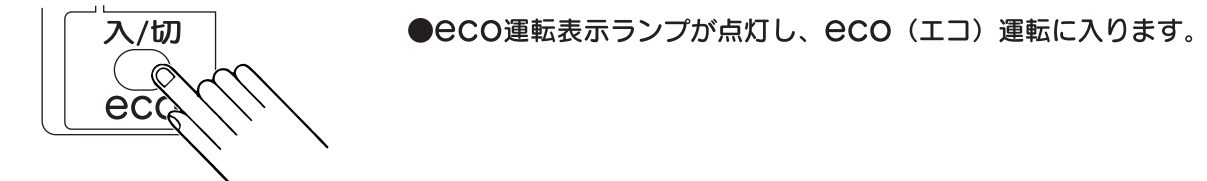


●eco(エコ)運転でセーブ消火がくりかえされるとガラス円筒にすすがつくことがあります。
ときどきeco(エコ)運転を解除し、火力を中～大で1～2時間燃焼させてください。

手動運転時

※火力調節つまみが「中」～「大」のときeco（エコ）運転をします。
●室温が20℃以上の場合、最大火力を90%におさえて運転します。
●室温が24℃以上で30分以上運転した場合、最大火力を80%におさえて運転します。

eco(エコ)運転方法 eco運転ボタンを押してください。



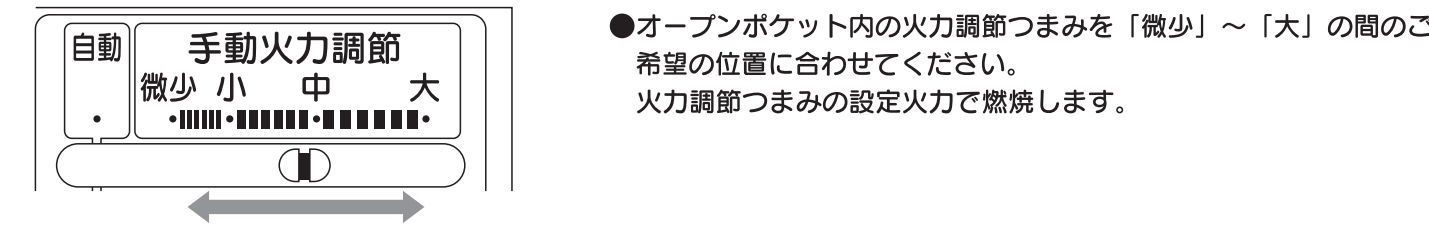
eco(エコ)運転の解除 再度、eco運転ボタンを押してください。

●eco運転表示ランプが消灯し、eco（エコ）運転を解除します。
●eco（エコ）運転を解除するとeco（エコ）運転前の設定に戻ります。

eco（エコ）運転は一度セットすると記憶されますので、消火しても解除されません。

火力調節（手動調節－手動運転）

室温設定による自動運転の他に、火力調節つまみによる手動火力調節が可能です。次のようにしてください



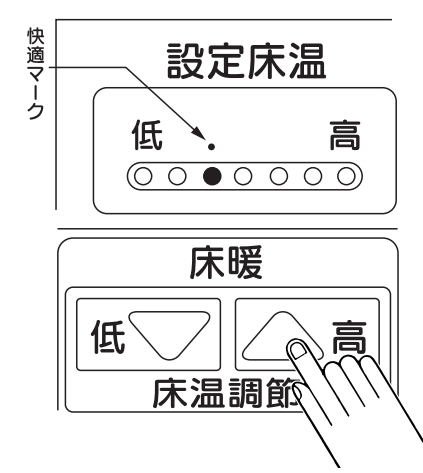
炎の状態

ストーブの据付けや煙突の設置条件で、炎は多少変化します。

●燃焼中の炎に黄色い炎(赤火)が混じったり、かたよったり、上下変動することがありますが、異常ではありません。

床暖パネルの温度調節 UH-7711PR

ストーブ床暖房運転、サポートヒータ運転、ストーブ床暖房・サポートヒータ併用運転のいずれの場合も循環水が設定温度になるように、自動的に温度調節されます。また、設定床温表示ランプに快適マークがついています。快適マークは、床暖パネルのカーペット表面をほぼ33～34℃（床暖パネル3畳の場合）に保つ循環水温度を示します。ご参考にされると便利です。



- 特に温度設定しない場合は、自動的に快適マークの位置（設定床温表示ランプの3つ目）に設定されランプ表示します。
- 床温調節ボタンを押すと次のように床温調節でき設定床温表示ランプも移動点灯します。
 - ・「低」……1回押すたびに設定温度を6℃下げ、ランプ表示が左に移動。
 - ・「高」……1回押すたびに設定温度を6℃上げ、ランプ表示が右に移動。

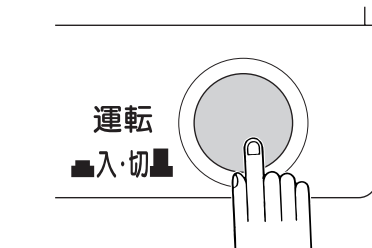
●設定床温は床暖パネルの温度設定です。お部屋の温度設定は設定室温または、火力調節つまみでおこなってください。カーペットの表面が熱くなりすぎないように設定床温には、十分注意してください。

運転停止（消火）

消火順序

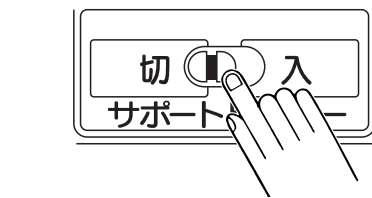
UH-7711PR SV-7011PR

ストーブ床暖房運転 ストーブ単独運転



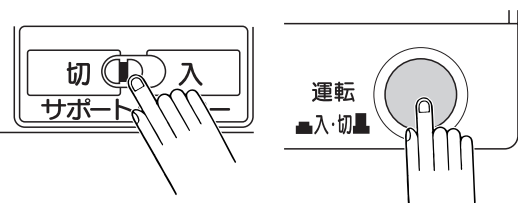
UH-7711PR

サポートヒータ運転



UH-7711PR

ストーブ床暖房・サポートヒータ併用運転



運転スイッチを押して「切」にしてください。
運転ランプが消灯します。
燃焼室が冷却すると約10分後に燃焼用送風機、※循環ポンプ(ストーブ床暖房運転のみ)が停止し、時刻表示以外のすべてのランプが消灯します。
※印はUH-7711PRのみ対象です。

サポートヒータスイッチを「切」にしてください。
サポートヒータ運転ランプ、設定床温表示ランプが消灯し、サポートヒータ、循環ポンプが運転を停止します。

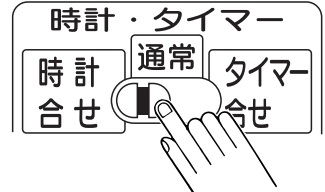
運転スイッチ、サポートヒータスイッチを「切」にしてください。運転ランプ、サポートヒータ運転ランプが消灯し、サポートヒータが運転を停止します。燃焼室が冷却すると、約10分後に燃焼用送風機、循環ポンプが停止し、時刻表示以外のすべてのランプが消灯します。
サポートヒータスイッチの切り忘れに注意してください。

- ⚠注意** 2日以上家をあけるなど長時間使用しない場合は、運転が完全に停止してから電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 外出のときは、必ず運転を停止（消火）してください。
- 緊急時以外にストーブに強い衝撃を与えたり、電源プラグを抜いての消火はしないでください。

消火後、再点火するときの注意

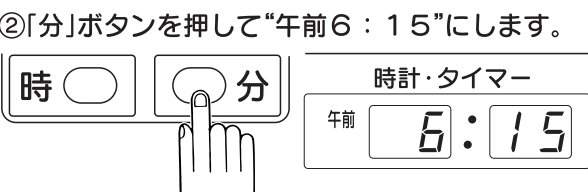
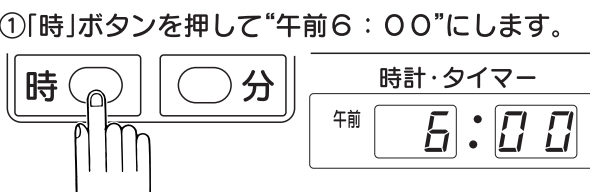
- 燃焼中に誤って電源プラグを抜いたり、運転スイッチを「切」にすると再点火安全装置の働きでストーブが冷却されるまでの約2分間は再点火できません。
ただし瞬間的な消火操作（約1秒以内）の場合は、そのまま燃焼が継続されます。

現在時刻の調節方法



1. オープンポケット内の時計調節スイッチを「時計合せ」にします。
はじめて使用するときや、電源プラグを長時間抜いたときは、時刻表示は――：――を表示します。
2. 時計調節の「時」・「分」ボタンを押して現在時刻を合わせます。

例：午前6時15分に合わせる場合



3. 必ず時計調節スイッチを「通常」位置にもどしてください。
（時計は、時計調節スイッチを「通常」位置にもどした時点から動き始めます。）

- 必ず時計調節スイッチが「通常」になっていることを確認してください。
- 30秒以内の停電であれば、再通电後も現在時刻を表示しますので時刻合わせの必要はありませんがそれ以上の停電で、時刻表示が――：――を表示した場合は、時刻合わせをおこなってください。

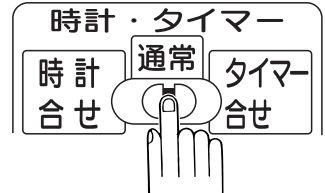
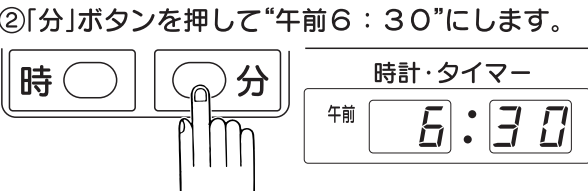
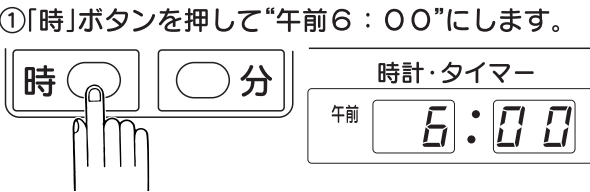
タイマーの使用方法

■運転時刻の合わせ方



1. オープンポケット内の時計調節スイッチを「タイマー合せ」にします。
2. 時計調節の「時」・「分」ボタンを押してタイマー点火時刻を合わせます。「分」は5分きざみに動きます。

例：午前6時30分に合わせる場合

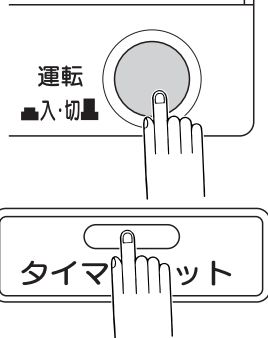


- これでタイマーセット時刻が記憶されました。
3. 必ず時計調節スイッチを「通常」位置にもどしてください。これで時刻表示には現在時刻が表示されます。

■タイマー運転方法

(UH-7711PR) (SV-7011PR)

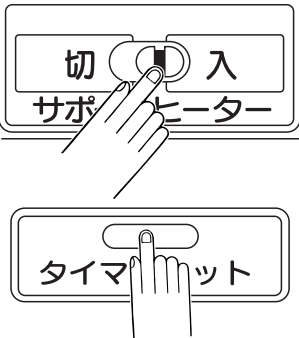
ストーブ床暖房運転 ストーブ単独運転



1. 運転スイッチを押して「入」にしてください。
（運転中の場合は運転スイッチを押す必要はありません。）
2. ご希望の設定室温または、火力に合わせてください。
3. ※床温調節ボタンでご希望の設定床温に合わせてください。
（ストーブ床暖房運転の場合） ※印はUH-7711PRのみ対象です。
4. タイマーセットボタンを押してください。
時刻表示にタイマーセット時刻が表示され、タイマー表示ランプが点灯し、タイマー運転に入ります。
（運転停止中にタイマー運転をした場合は燃焼用送風機が10分間運転します。また、運転中にタイマー運転をした場合は、自動消火し、運転を停止します。）

(UH-7711PR)

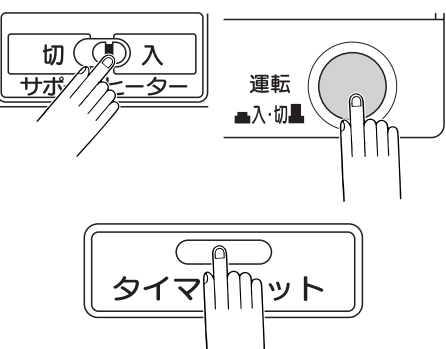
サポートヒータ運転



1. オープンポケット内のサポートヒータスイッチを「入」にしてください。
2. 床温調節ボタンでご希望の設定床温に合わせてください。
3. タイマーセットボタンを押してください。
時刻表示にタイマーセット時刻が表示され、タイマー表示ランプが点灯し、タイマー運転に入ります。

(UH-7711PR)

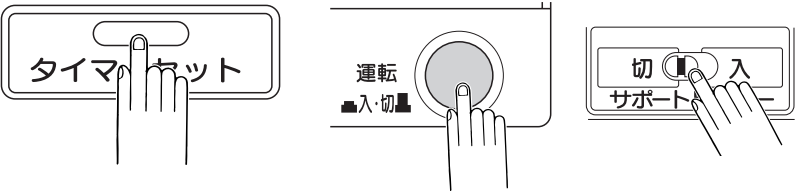
ストーブ床暖房・サポートヒータ併用運転



1. 運転スイッチとサポートヒータスイッチを「入」にしてください。
（運転中の場合は運転スイッチを押す必要はありません。）
2. ご希望の設定室温または、火力に合わせてください。
3. 床温調節ボタンでご希望の設定床温に合わせてください。
4. タイマーセットボタンを押してください。
時刻表示にタイマーセット時刻が表示され、タイマー表示ランプが点灯し、タイマー運転に入ります。
（運転停止中にタイマー運転をした場合は燃焼用送風機が10分間運転します。また、運転中にタイマー運転をした場合は、自動消火し運転を停止します。）

- 外出時など、留守中に燃焼を開始するようなタイマーセットは、絶対にしないでください。
- タイマー運転は、運転スイッチが「入」になっていないと運転が開始されません。
- タイマー運転中は節電のためタイマーセット時刻表示の明るさ（輝度）が落ちます。
- タイマーセット時刻になるまでは、時刻表示にタイマーセット時刻が表示され続けます。

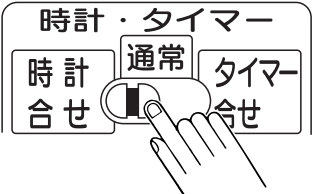
■タイマー運転の解除



- 再度、タイマーセットボタンを押してから運転スイッチおよびサポートヒータスイッチを「切」にしてください。
タイマー表示ランプが消灯し、時刻表示に現在時刻が表示され、タイマー運転が解除されます。

タイマーの使用方法

■タイマーセット時刻・現在時刻の確認



現在時刻の確認



タイマーセット時刻の確認

- ①時計調節スイッチを「時計合せ」または「タイマー合せ」に合わせます。
- ②現在時刻または、タイマーセット時刻が時刻表示に表示されます。
- ③確認後、時計調節スイッチは、必ず「通常」位置にもどしてください。

自己診断モニタについて

ストーブにトラブルが発生するとトラブルの状態が表示部に記号表示（自己診断モニタ）されます。「故障・異常の見分け方と処置方法」（25～26ページ）をご覧ください。

〈自己診断モニタ〉

表 示	原 因	解除方法	表 示	原 因	解除方法
E 1	途 中 消 火	①	P 1	ボ ッ ト 予 熱 不 足	②
E 2	不 着 火		P 2	ボ ッ ト 温 度 低 下	
E 3	対 震 作 動		P 3	ボ ッ ト 異 常 過 熱	
E 6	ル ー ム サ ー モ 断 線		P 4	不 消 火 (消 火 時 間 が 長 い)	
E 7	停 電		P 5	基 板 不 良	①
E 9			F 1 ※	熱 交 サ ー モ 作 動	
E 8	疑 似 火 災		F 2 ※	湯 温 サ ー ミ ス タ 断 線	
E A	燃 焼 用 送 風 機 異 常 検 出		F C ※	湯 温 サ ー ミ ス タ 短 絡	
E C	ル ー ム サ ー モ 短 絡				
E E	停 止 時 ボ ッ ト 異 常 過 熱				
E O	基 板 温 度 異 常				

※印はUH-7711PRのみ対象です。

■解除方法


- ①運転スイッチを一旦「切」にし、再び「入」にしてください。
- ②お買い求めの販売店または、お近くのコロナサービスセンターに修理を依頼してください。

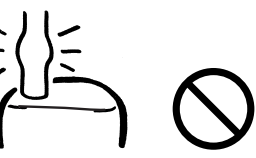
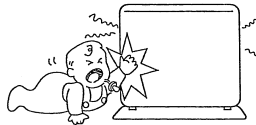
お願い

- お買い求めの販売店または、お近くのコロナサービスセンターに連絡していただく際は、表示している自己診断モニタもお知らせください。

使用上の注意

本書の「特に注意していただきたいこと（安全のために必ずお守りください）」の他に、次の項目についても注意してください。

- ストーブの上面板・上面ガード・前面ガードなどは高温です。やけどに注意してください。特にお子さまをストーブに近づけないでください。
- 上面ガードを取り外したり、前面ガードを開いたまま使用しないでください。誤って放熱器やガラス円筒などの高温部にふれますとやけどをします。また上面ガードは、地震などにより可燃物が落下したときなどに火災を防止するためのものです。やむをえず取り外した場合は、必ずもとの状態に取り付けておいてください。
- 煙突は高温です。やけどに注意してください。
- 煙突閉そく危険  **警告** 煙突がつまったり、ふさがれたままで使用しないでください。閉そくしていると運転中に排ガスが室内に漏れて、危険です。
- 雷が発生したとき、雷（誘導雷）により一時的な過電圧がかかっても、過電圧防止装置が機器を保護するしくみになっていますが、大きな雷（直撃雷など）の場合は、電子部品を損傷するおそれがありますので、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ガラス円筒には水をかけたり、衝撃をあてたりしないでください。ガラスが割れ危険です。
- ストーブ前面付近は、ふく射熱が強いので、熱に弱いものを置いたり、敷いたりしないでください。変色や変形したりすることがあります。
- シーズンオフのように長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いてください。



床暖房の床温調節 (UH-7711PR)

- 設定床温は、床暖パネルの温度設定です。お部屋の温度設定は設定室温または火力調節つまみでおこなってください。カーペットの表面が熱くなりすぎないように設定床温には十分注意してください。













循環水の凍結予防（循環液の注入） (UH-7711PR)

腐食予防および凍結予防のために必ず循環液を入れてください。

- 循環液は必ずコロナ床暖房用循環液（別売品）をご使用ください。他の不凍液を使用したり混合したりすると製品の寿命が短くなります。
- 循環液は3年を目安に入れかえてください。（開封した循環液も含む）

6.安全装置

このストーブには次のような安全装置がついています。すべての安全装置は、異常が取り除かれても再度点火操作をしなければ運転は停止したままです。

安 全 装 置	原因・作動結果	処 置 方 法
対 震 自 動 消 火 装 置 ( 表示)	●強い地震（震度約5以上）や衝撃を受けたとき ↓ ・自己診断モニタ  表示 ・自動的に消火	●ストーブの周辺や煙突の接続部・煙突トップの外れ、油漏れなどの異常がないことを確認してから点火操作をしてください。 (対震自動消火装置は作動後自動的にセットされます。)
点 火 安 全 装 置 燃 焼 制 御 装 置 (フ レ ー ム ロ ッ ド)  表示 ・  表示 (途 中 消 火) (不 着 火)	●点火ミスをしたとき ●途中消火をしたとき ●炎が異常に小さいとき ↓ ・自己診断モニタ  表示または  表示 ・自動的に消火	●日常の点検・手入れ(20～24ページ参照) をしてから点火操作をしてください。 ●なおも異常がある場合は、お買い求めの販売店または、お近くのコロナサービスセンターにご相談ください。
停 電 安 全 装 置  表示 ・  表示 (30 秒 以 上) (1 秒 以 上 30 秒 未 満)	●停電したとき ●電源プラグが抜けたとき ↓ ・通電後自己診断モニタ  表示または  表示 ・自動的に消火	●  の場合、時計などのセットをしてから、点火操作をしてください。 ●  の場合、通電後点火操作をしてください。 ●電源プラグを確認してください。

7.その他の装置

装 置 の 名 称	原因・作動結果	処 置 方 法
再 点 火 安 全 装 置	<div>●消火直後、再点火操作したとき</div> <div>↓</div> <div>・約2分間の冷却後でないと点火動作に入らない</div>	<div>(●約2分経過後、自動的に点火動作を開始します。)</div>
燃焼用送風機異常 検出装置 (ER 表示)	<div>●回転数が異常に低下したとき</div> <div>↓</div> <div>・自己診断モニタ ER 表示 ・ストーブの運転を停止</div>	<div>●お買い求めの販売店または、お近くのコロナサービスセンターに修理を依頼してください。</div>
過 電 流 防 止 装 置 (表示部全消灯)	<div>●内部配線のショートにより過電流が流れたとき</div> <div>↓</div> <div>・電流ヒューズが切れ、すべての運転を停止</div>	<div>●お買い求めの販売店または、お近くのコロナサービスセンターに修理を依頼してください。</div>
※ 循 環 水 過 昇 防 止 装 置 (FI 表示)	<div>●循環水が極端に減少したとき ●循環水が循環しないとき</div> <div>↓</div> <div>・自己診断モニタ FI 表示 ・ストーブの運転を停止</div>	<div>●循環水の量を確認する等により循環水過昇原因を取り除いてから点火操作をしてください。 ●なおも異常がある場合はお買い求めの販売店または、お近くのコロナサービスセンターにご相談ください。</div>
※ サ ポ ー ト ヒ ー タ 過熱防止装置	<div>●循環水が極端に減少したとき ●循環水が循環しないとき</div> <div>↓</div> <div>・サポートヒータへの通電を停止 (温度が下がると自動的に通電を再開)</div>	<div>●運転を一旦停止して、日常の点検・手入れ(23ページ)をしてください。 ●なおも異常がある場合はお買い求めの販売店または、お近くのコロナサービスセンターにご相談ください。</div>
安全サーミスタ(73℃) (ED 表示)	<div>●ストーブの上面及び側面が囲われているとき ●ストーブの前面に障害物などがあるとき</div> <div>↓</div> <div>・自己診断モニタ ED 表示 ・自動的に消火</div>	<div>●原因を取り除いてから点火操作をしてください。 ●なおも異常がある場合はお買い求めの販売店または、お近くのコロナサービスセンターにご相談ください。</div>

※印はUH-7711PRのみ対象です。

8.日常の点検・手入れ

点検、手入れのときの注意

点検・手入れは消火後、ポットバーナが冷却してから必ず電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。

ご注意

- 電気部品の分解や市販品との交換は絶対にしないでください。
- 燃焼部の分解は絶対にしないでください。

点検、手入れの必要項目、時期、方法

■周囲の可燃物（使用ごと）

- ⚠注意 ストーブの周囲は、常に整理・掃除し、燃えやすいものを置かないでください。

■ほこり（使用ごと）

- ストーブにほこりが付いた状態で運転をしないでください。
- ストーブ外観のほこりや汚れは乾いたやわらかい布などできれいにふきとってください。シンナー・アルコール・ベンジンなどは使用しないでください。

■油漏れ・油のたまり・油のにじみ（使用ごと）

- 置台・油タンクに油漏れ・油のたまりや油のにじみがないか、点検してください。
また、給油の際にこぼれた灯油は、よくふきとってください。

お願い

- 油漏れがある場合は、お買い求めの販売店または、お近くのコロナサービスセンターに修理を依頼してください。

■ゴム製送油管の点検・交換の目安（シーズンの初め）

- ⚠注意 油タンクやゴム製送油管・接合部・給油コックおよび機器などからの灯油漏れがないことを確認の上で使用ください。

ご注意

- ゴム製送油管は、屋外で使用しないでください。屋外での使用は禁止されています。
- ゴム製送油管は、経年変化しますので手で少し曲げ、ひび割れがないか点検し、ひび割れがあるときは交換してください。交換の目安は、3年に1度です。交換はお買い求めの販売店または、お近くのコロナサービスセンターに依頼してください。

■油タンク（シーズンの初め、適時）

- 油タンク内に水やごみがたまってないか点検してください。
油タンク内の水抜きおよび掃除は、油タンク付属の取扱説明書に従っておこなってください。

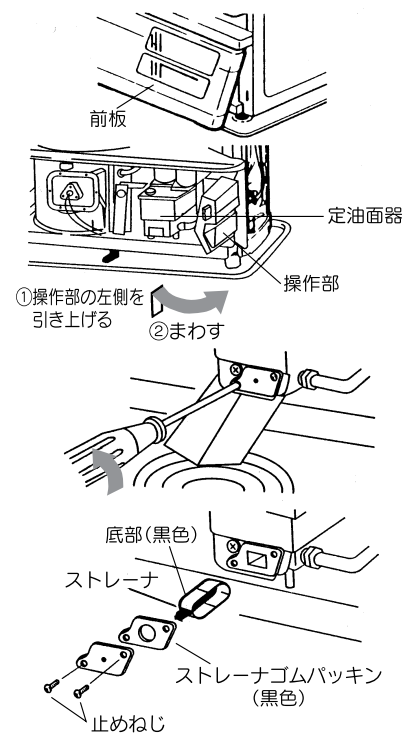
■煙突の接続部のゆるみおよびトップの周囲（シーズンの初め、適時）

- 煙突の接続部、煙突トップの外れがないかを点検してください。煙突が腐食したり、穴があいたりしていると危険ですので新しい物と交換してください。
- 煙突の近くには燃えやすいものを置かないでください。
- 煙突内は結露で生じた水滴が凍ってつまると危険です。点火時に、煙突のつなぎ目やストーブより異常な煙が出たら消火して、煙突内部を点検してください。

■定油面器のストレーナの掃除（適時）

（お買い求めの販売店または、お近くのコロナサービスセンターに依頼してください。）

- 定油面器には、ごみを除くためのストレーナがついています。ごみがたまると灯油の流れを妨げて十分な火力が出なくなります。次のように掃除してください。



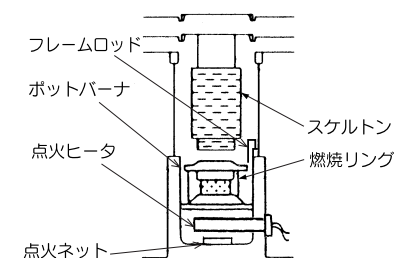
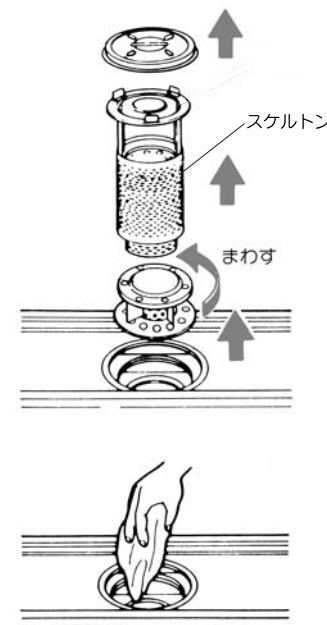
1. 油タンクの送油バルブを閉じてください。
2. ストープの前板を止めているねじ（5本）を外し、前板の下側を引き上げて前に引いて取り外してください。
3. 操作部を左図のように①操作部の左側を少し引き上げて、②手前にまわして、開いてください。定油面器がみえてきます。
4. ストレーナの掃除口にハガキなどの厚紙を差し込んで油ガイドを作り、その下に容器を置いてストレーナの止めねじをゆるめて外してください。定油面器の汚れた灯油やごみが全部流れ出ます。
5. ストレーナを取り出してきれいな灯油の中ですすぎ洗いをしてください。（水で洗わないでください。）

組み立てるときは

- ストレーナゴムパッキンを忘れないようにしてください。
- ストレーナを逆に入れしないでください。また、底部（黒色）が必ず左横になるように取り付けてください。
- ストレーナの止めねじを固く締め付けてください。
- 油漏れがないか確認してください。

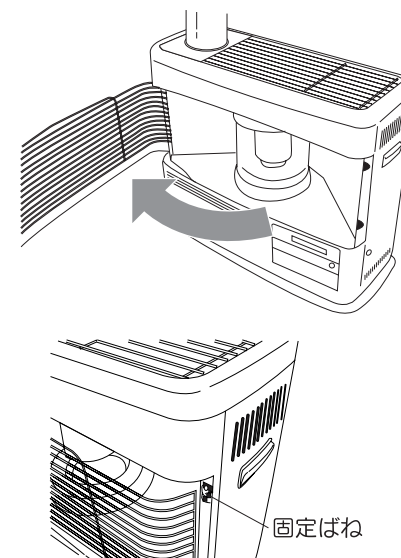
■ポットバーナの掃除（適時）（お買い求めの販売店または、お近くのコロナサービスセンターに依頼してください。）

- 【ご注意】**掃除は、ストーブを消火させ十分冷却してからおこなってください。熱い状態でおこなうとやけどのおそれがあります。
- ポットバーナにすすがついて炎の形が不揃いになったときや消火がおそくなったときは、次のようにすすを取り除いてください。



1. 上面ガードを外してください。
2. 燃焼筒ふたを外してください。
3. スケルトンをガラス円筒にあてないように取り外してください。
4. 燃焼リングをフレームロッドに当てないように注意して左図の方向に燃焼リングをまわし、取り外してください。
5. ノズル、点火ヒータ、点火ネットを変化させないようにポットバーナ内部のすすをドライバーなどでかき落としてから布などでふきとってください。
6. 組立ての際、燃焼リングは、左図のように確実に取り付けてください。

■反射板・ガラス円筒の掃除（適時）



- 【ご注意】**掃除は、ストーブを消火させ十分冷却してからおこなってください。熱い状態でおこなうとやけどのおそれがあります。
- 反射板およびガラス円筒にほこりがたまると反射効率が悪くなるばかりでなく危険です。次のようにほこりを取り除いてください。

1. 前面ガードを右側の固定ばね（2個）から外し左側にまわしてください。
2. ガラス円筒を割らないように注意して掃除機などで反射板およびガラス円筒のほこりをきれいに掃除してください。
3. やわらかい布などで反射板およびガラス円筒をきれいにふいてください。
4. 掃除が終わったら、もとどおりに取り付けてください。

- 前面ガードは、確実に取り付けてください。

点検、手入れの必要項目、時期、方法

■ガラス円筒内部の掃除（適時）

（お買い求めの販売店または、お近くのコロナサービスセンターに依頼してください。）

- 【ご注意】**掃除は、ストーブを消火させ十分冷却してからおこなってください。熱い状態でおこなうとやけどのおそれがあります。
- 長期間の使用によりガラス円筒がすすけて炎が見えにくくなったときは、22ページ「ポットバーナの掃除」の項に従い、スケルトンを外してガラス円筒を掃除してください。

- ガラス円筒には、水をかけたり、衝撃を与えないように注意してください。
- 運転中にガラスが徐々にすすけた場合は、しばらくの間（約30分間）火力を大きくすることにより、すすを除去することができます。

■点火ヒータ・点火ネット・ノズルの点検（シーズンの初め）

（お買い求めの販売店または、お近くのコロナサービスセンターに依頼してください。）

- 点火ヒータや点火ネットにすすが付着すると赤熱が低下したり、油のひろがりが悪くなり、着火不良の原因になります。
- ノズルの先端にすすが付着すると異常燃焼になったり、着火不良や消火時間が長くなる原因になります。点火ヒータ、点火ネット、ノズルの点検・交換はお買い求めの販売店または、お近くのコロナサービスセンターに依頼してください。

■フレームロッド（燃焼制御装置）の点検（適時）

（お買い求めの販売店または、お近くのコロナサービスセンターに依頼してください。）

- フレームロッドの先端にすすが付着したり、フレームロッドが変形すると誤作動の原因になります。フレームロッドの点検・交換はお買い求めの販売店または、お近くのコロナサービスセンターに依頼してください。

■循環水の補給（適時）（UH-7711PR）

補充液

給水口扉

シスターンタンク内の循環水は、少しずつ蒸発します。ときどき水位を確認して循環水が不足している場合は、規定水位まで床暖房専用補充液を補給してください。

- 給水口扉を開き、床暖房専用補充液を上限水位まで補給してください。

- コロナ純正床暖房用循環液は、凍結予防の他に床暖房に使用される機器（ストーブ・床暖パネル・配管部品など）の防錆効果を目的に作られた循環液です。循環液はすでに純水で適正な濃度に調合してありますので、試運転時にはこのままストーブに入れてください。
- 他社銘柄の防錆剤、不凍液（特に車両用など）を使用したり、混合したりすると防錆効果が発揮されず機器の耐久性がそこなわれたり粘度があわずポンプの性能が十分発揮されずに、沸騰してしまうことがあります。
- 循環液は、常温では引火しませんが、加熱されたストーブの上などにかかるると着火することがありますので取り扱いには十分注意してください。
- 循環液は3年を目安に入れかえてください。（開封した循環液も含む）
- 循環液の凍結温度は、－20℃に調合されています。

■温水配管の点検・交換の目安（シーズンの初め、適時）（UH-7711PR）

- ストーブ内部や温水配管接続部分から水漏れがないことを確認してください。
- バックチューブは経年変化しますので手で少し曲げ、ひび割れがないか点検し、ひび割れがあるときは交換してください。交換の目安は3年に1度です。交換はお買い求めの販売店または、お近くのコロナサービスセンターに依頼してください。

■燃焼用送風機ファンフィルタの掃除（適時）

- ファンフィルタがごみやほこりで目づまりすると燃焼不良の原因になります。次のようにストーブ裏面のファンフィルタの掃除をおこなってください。

1. 左図の矢印のようにファンフィルタに力を加えながら引き出し、ストーブ裏面から取り外してください。
2. ブラシなどでフィルタのほこりを取り除いてください。
3. 掃除が終わりましたら、もとどおりに取り付けてください。

■燃焼用送風機の掃除（年1回以上）

（お買い求めの販売店または、お近くのコロナサービスセンターに依頼してください。）

- 燃焼用送風機ファンにごみやほこりがたまると送風力が弱くなり燃焼が悪くなったり、音が大きくなってくることがあります。このようなときには、燃焼用送風機ファンのほこりを取り除いてください。

1. ストーブ後側のファンカバーと風量制限板を外し、ブラシなどで静かにほこりを取り除いてください。
2. 清掃が終わりましたら、もとどおりに取り付けてください。

- 燃焼用送風機ファンに力を加えると曲りや傾きを生じて、回転のときに音が出ることがありますので力を加えないようにしてください。

■地震などの災害が発生したときの点検について

- 地震などの災害が発生し、ストーブに振動や衝撃が加わったときは、運転前に必ず次の点検をおこなってください。
 - ・給排気筒周りの外れ、漏れの確認
 - ・灯油配管からの漏れの確認
- 点検で異常が見つかった場合は、お買い求めの販売店または、お近くのコロナサービスセンターに修理を依頼してください。

9. 定期点検

長期間で使用になりますと、ストーブの点検が必要です。2シーズンに1回程度、シーズン終了後などに点検を実施してください。点検のご相談は、お買い求めの販売店または、お近くのコロナサービスセンターまたは修理資格者〔(財)日本石油燃焼機器保守協会（TEL03-3499-2928）で行う技術管理講習会修了者（石油機器技術管理士）など〕のいる店までお問い合わせください。

愛情点検	長年ご使用の半密閉式石油ストーブの点検をぜひ！	ご使用中止
	<div>こんな症状はありませんか</div> <ul style="list-style-type: none">●油もれがする。●強いにおいがする。●運転中に異常な音がする。●その他の異常や故障がある。	<div>故障や事故の防止のため必ずお買い求めの販売店または、お近くのコロナサービスセンターにご連絡ください。点検・修理についてのご費用など詳しいことはお買い求めの販売店または、お近くのコロナサービスセンターにご相談ください。</div>

10.故障・異常の見分け方と処置方法

■次のような現象は故障ではありません。
●修理を依頼される前にもう一度お確かめください。

現 象		説 明
点 火 時 ・ 消 火 時	初めて使用するときやシーズンの初めに煙やにおいがでる。	耐熱塗料やほこりが焼けるためです。 しばらく窓をあけて換気をしてください。
	すぐに点火しない。	予熱点火方式のため予熱時間が2分程度必要です。 (予熱時間は室温により多少変化します。)
	燃焼開始時や消火後に「ピチピチ」や「カンカン」という音がする。	本体内部が熱により膨張、収縮するためです。
	点火時にボンと音がする。	点火するときに発生する着火音で、異常ではありません。
	燃焼開始時に黄色い炎（赤火）が混じる。	異常ではありません。

■使用中に異常があったら次表により原因を調べて処置をしてください。
●原因のわからないときや処置のむずかしいときはお買い求めの販売店または、お近くのコロナサービス
※印部の現象・原因はUH-7711PRのみ対象です。

原 因 \ 現 象	E 1 (途中消火)	E 2 (点火しない)	E 3 (対震作動)	E 7 (停電) E 9 (停電)	E 8 (疑似火炎)	F 1 (熱交サーモ作動)※	炎が 大きく ならない	黒煙を 出して 燃える	ガラ ス円筒 がすす ける
電源プラグをコンセントに差し込んでいない									
強い地震があった。または、ストーブに衝撃を与えた			●						
送油バルブが閉まっている	●	●							
定油面器の安全装置が作動している	●	●							
ゴム製送油管に空気だまりがある	●	●					●		
定油面器に水、ごみが入っている	●	●					●		
煙突の設置が基準通りでない。煙突の横引きが長い								●	●
燃焼用送風機のファンフィルタにほこりがたまった								●	●
煙突の工事が不適当のため逆風現象がある	●							●	●
燃焼リングが変形している								●	●
強風などにより、煙突の引きが極端に強い	●								
油漏れがある									
フレームロッドにすすが多量に付着した	●				●				
循環ポンプが故障している ※						●			
循環水が不足している ※						●			
温水配管がつぶれている。温水ジョイントのコックが閉じている ※						●			
長時間停電があった（30秒以上－E7表示）				●					
停電があった（1秒以上 30秒未満－E9表示）				●					

10.故障・異常の見分け方と処置方法

現 象		説 明
燃 焼 時 ・ そ の 他	炎の一部が揺らぐ。青炎の中に黄色い炎（赤火）が混じる。	異常ではありません。
	煙突の先端から連続的に白煙が出る。	外気温が低くなると、排気ガス中に含まれている水分が凝結して水蒸気になるためで、異常燃焼による白煙ではありません。
	灯油ぎれの際に一瞬炎が大きくなって消火する。	異常ではありません。
	タイマー運転中に表示部の表示が暗い。	待機時の節電のためです。
	「カチカチ」音がする。	電磁ポンプの運転音で異常ではありません。
	ガラス円筒が白くなる。	灯油中の成分がガラス円筒に付着するためです。異常ではありません。

●次のような現象のときは使用を中止し、油タンクの送油バルブを閉じてお買い求めの販売店または、お近くのコロナサービスセンターにご連絡ください。

現 象	症 状
点火時・燃焼時・消火時に「ボン」という大きな音がした。	ストーブが損傷したりパッキンが飛散しているおそれがあります。
黒煙を出して燃えている。	燃焼が異常になっています。
置台に灯油が漏れている。	送油配管より灯油が漏れています。

センターにご連絡ください。設定室温表示に自己診断モニタが表示されます。

処 置 方 法							
音をたてて燃える	灯油のにおいがする	爆発的な燃焼をする	電源が入らない	床暖パネルがあたたまらない ※	沸とう音がする ※	振動が大きい ※	
			●				コンセントに確実に差し込む
							ストーブの周辺や煙突の接続部・煙突トップの外れ、油漏れなどの異常がないことを確認してから点火操作をする
							送油バルブを開く
							定油面器リセットレバーを左方向に止まるまで押す
							燃料切れの注意と空気抜きの方法（8ページ）を参照して空気抜きをする
							お買い求めの販売店または、お近くのコロナサービスセンターに修理を依頼する
							お買い求めの販売店または、お近くのコロナサービスセンターに修理を依頼する
							ファンフィルタのほこりをブラシなどで掃除する
		●					お買い求めの販売店または、お近くのコロナサービスセンターに修理を依頼する
●							お買い求めの販売店または、お近くのコロナサービスセンターに修理を依頼する
●							お買い求めの販売店または、お近くのコロナサービスセンターに修理を依頼する
	●						お買い求めの販売店または、お近くのコロナサービスセンターに修理を依頼する
							お買い求めの販売店または、お近くのコロナサービスセンターに修理を依頼する
				●	●	●	お買い求めの販売店または、お近くのコロナサービスセンターに修理を依頼する
				●	●		規定水位まで補充液を入れる
				●	●	●	温水配管のつぶれを直す。温水ジョイントのコックを開く
							設定室温、時刻などをセットしてから点火操作をする
							リセットしてから再度点火操作をする

11.部品交換のしかた

■部品交換のときの注意

【ご注意】 不完全な修理、調整は危険ですので、部品の交換、調整が必要な場合には、お買い求めの販売店または、お近くのコロナサービスセンターもしくは修理資格者〔(財)日本石油燃焼機器保守協会で行う技術管理講習会修了者(石油機器技術管理士)など〕のいる販売店にご相談ください。

部品交換はコロナ純正部品とご指定ください。

消耗・劣化しやすい部品（交換が必要な部品）

項 目	内 容
使用期間により交換が必要な部品	ポットバーナ・点火ヒータ・燃焼リング・スケルトン フレームロッド・点火ネット・ガラス円筒・各種パッキン
環境により劣化しやすい部品	プリント配線板・燃焼用送風機・ゴム製送油管
変質・不純灯油の使用により劣化しやすい部品	電磁ポンプ・定油面器・フレームロッド

12.保管（長期間使用しない場合）

シーズン終了時などの長期間使用しないときは、日常の点検・手入れの項（20～24ページ）を参照し、次の要領で保管してください。

- 1.電源プラグをコンセントから抜いてください。
- **【△注意】** 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

- 2.油タンクの送油バルブを閉じてください。

- 3.ファンフィルタの掃除をしてください。（24ページ参照）

- 4.定油面器内の灯油をすべて抜き取ってください。（21ページ参照）

- 5.本体のごみやほこりを取ってください。
- 掃除機などでごみやほこりを取り除いてください。

- 6.本体をしめらせた布で汚れを落としてから、からぶきしてください。

- 7.ストーブは据付けたまま保管してください

- ファンフィルタにほこりなどがたまらないようカバーなどをかけてください。
- どうしても取り外して保管されるときは、ポリ袋をかぶせ、乾燥した場所に横倒しにしないようおしまいください。
- 床暖の配管を接続したままで保管する場合は、上限水位まで補給しておいてください。（UH-7711PR）
- ストーブ内の循環水を抜いて保管する場合は、エアー抜きバルブを開いておき、エアー抜きバルブ配管内も乾燥させてください。（UH-7711PR）
- 次シーズンに据付けるときには、必ずお買い求めの販売店または、お近くのコロナサービスセンターに依頼してください。

- 取扱説明書は大切に保管してください。

13.仕 様

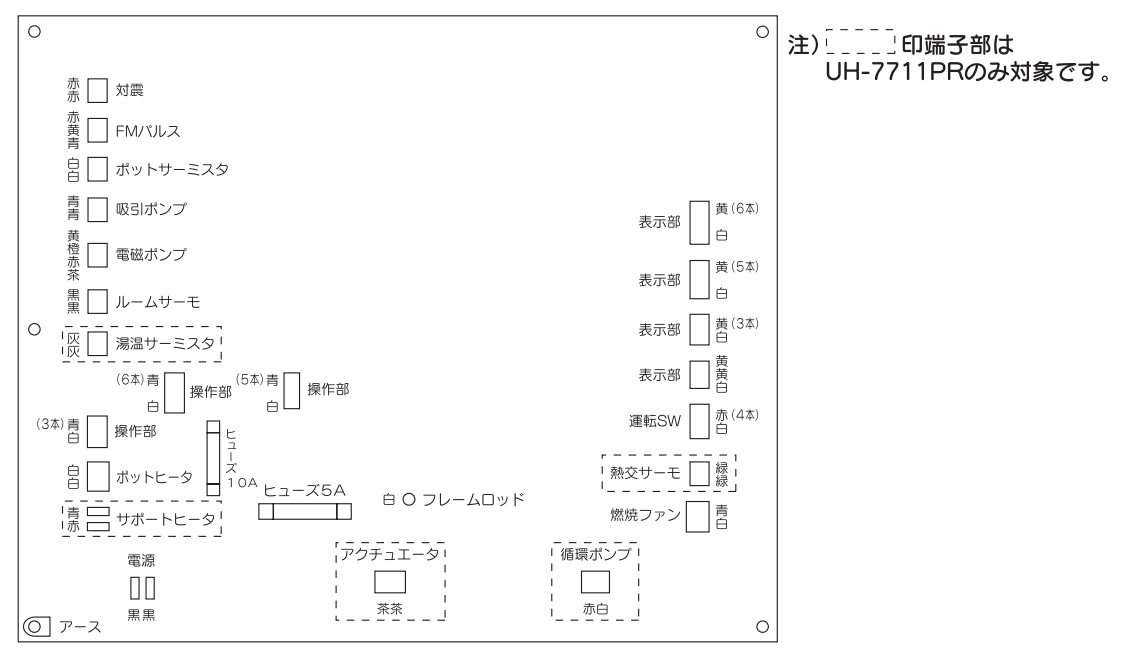
仕 様

※印はUH-7711PRのみ対象です。

型 式 の 呼 び 名			UH-7711PR（基本型式 UH-7710PR）		SV-7011PR（基本型式 SV-7010PR）	
種 類			ポット式・屋内用・強制通気形・自然対流形・※床暖房用			
点 火 方 式			電気点火式			
使 用 燃 料			灯油（JIS 1 号灯油）			
燃 焼 状 態			最大		最小	
燃料消費量	床 暖 房 運 転		9.72kW（0.945L/h）		2.26kW（0.220L/h）	
	ス ト ー ブ 単 独 運 転		9.72kW（0.945L/h）		10.14kW（0.986L/h） 2.26kW（0.220L/h）	
発 熱 量	床 暖 房 運 転		35,000kJ/h		8,150kJ/h	
	ス ト ー ブ 単 独 運 転		35,000kJ/h		36,520kJ/h 8,150kJ/h	
熱 効 率	床 暖 房 運 転		78.8%		81.9%	
	ス ト ー ブ 単 独 運 転		69.0%		67.0%	
暖房出力	床 暖 房 運 転		7.66 kW	循環水量 150L/h （1回路時）	1.86 kW	循環水量 100L/h （1回路時・2回路時）
				循環水量 180L/h （2回路時）（別売品使用）		
	ス ト ー ブ 単 独 運 転		6.71kW		1.52kW	
最大床暖房出力（床暖房運転）			最大燃焼時 2.09kW	循環水量 150L/h（1回路時） 循環水量 180L/h（2回路時）（別売品使用）		
サポートヒータ出力（サポートヒータ運転）			0.500kW 循環水量 100L/h			
標準適室	床 暖 房 運 転	温 暖 地	木造 36.5㎡（22畳） コンクリート 49.5㎡（30畳）			
		寒 冷 地	木造 36.5㎡（22畳） コンクリート 58.0㎡（35畳）			
	ス ト ー ブ 単 独 運 転	温 暖 地	木造 28.0㎡（17畳） コンクリート 39.5㎡（24畳）		木造 29.5㎡（18畳） コンクリート 41.5㎡（25畳）	
		寒 冷 地	木造 29.5㎡（18畳） コンクリート 46.0㎡（28畳）		木造 29.5㎡（18畳） コンクリート 48.0㎡（29畳）	
本 体 水 容 量			2L（器具内蔵シスターン上限水位時）			
床暖房用熱交換器の最高使用圧力			シスターン大気開放			
外 形 寸 法			高さ 615mm 幅 748mm 奥行 368mm（置台を含む）			
質 量			33kg		26kg	
電 源 電 圧 及 び 周 波 数			100V 50/60Hz			
定 格 消費電力	床 暖 房 運 転		点火時 360/360W・最大燃焼時 38/43W			
	ス ト ー ブ 単 独 運 転		点火時 340/340W・最大燃焼時 15/15W		点火時 340/340W・最大燃焼時 15/15W	
	サ ポ ー ト ヒ ー タ 運 転		最大運転時 625/625W			
待 機 時 消 費 電 力			2.8W			
床パネルの 接続面積	床 暖 房 運 転		4.5～19.5㎡（3畳～12畳）（最大燃焼時）			
	サ ポ ー ト ヒ ー タ 運 転		4.5㎡（3畳）			
温 水 配 管 接 続 口			外径φ8mmニップル			
煙 突 の 呼 び 径			φ106mm（3寸5分）			
煙 突 の 壁 貫 通 部 の 孔 径			φ110mm			
排気温度	床 暖 房 運 転		330℃以下			
	ス ト ー ブ 単 独 運 転		480℃以下		480℃以下	
電 流 ヒ ュ ー ズ			5A・10A			
安 全 装 置			対震自動消火装置・点火安全装置・燃焼制御装置・停電安全装置			
そ の 他 の 装 置			再点火安全装置・過電流防止装置・燃焼用送風機異常検出装置 安全サーミスタ・※サポートヒータ過熱防止装置・※循環水過昇防止装置			
付 属 品			置台 1 個・※バックチューブ2.5m・※ホースバンド2 個・本体固定金具2 個（ねじ2 個） 遮断板 1 個・ゴム製送油管締付バンド2 個・取扱説明書・※工事説明書			

備考）・標準適室は、社団法人・日本ガス石油機器工業会の算定基準によります。

プリント配線板 端子配置図



14.アフターサービス

■保証について

- このコロナ半密閉式石油ストーブには保証書がついています。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りになり大切に保管してください。
- 保証期間はお買い上げ日から1年間です。
- 次のような原因による故障および事故につきましては、保証の対象になりませんので注意してください。
 - ・変質灯油や不純灯油など、また灯油以外の燃料使用による故障や事故。
 - ・誤った使用方法による故障や事故。

■修理を依頼されるときについて

- 「故障・異常の見分け方と処置方法」(25～26ページ)の項に従ってお調べください。直らないときは、ご使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い求めの販売店または、お近くのコロナサービスセンターにご連絡ください。
- ご連絡いただきたい内容は次の通りです。
 - ① 品名 ② 型式の呼び ③ お買い上げ日 ④ 故障状況(できるだけ具体的に) ⑤ ご住所・ご氏名・お電話番号
- 修理に際しては、保証書をご提示ください。保証期間中であれば保証書の規定に従って無料修理させていただきます。
- 保証期間が過ぎているときは、修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。
- ご不明な点や修理に関するご相談は、お買い求めの販売店または、お近くのコロナサービスセンターにお問い合わせください。

■保証期間が過ぎているときは

- お買い求めの販売店または、お近くのコロナサービスセンターにご相談ください。修理によって使用できる製品についてはお客様のご要望により有料修理いたします。

■補修用性能部品の保有期間

- 石油ストーブの補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の保有期間は製造打ち切り後7年です。

■修理に出されるときは

- 輸送時や運搬時に定油面器内に灯油が残ったままですと、傾きや振動で灯油がこぼれることがありますので、必ず抜き取ってください。

15.据付け・移設

据付け・移設工事は販売店に依頼する

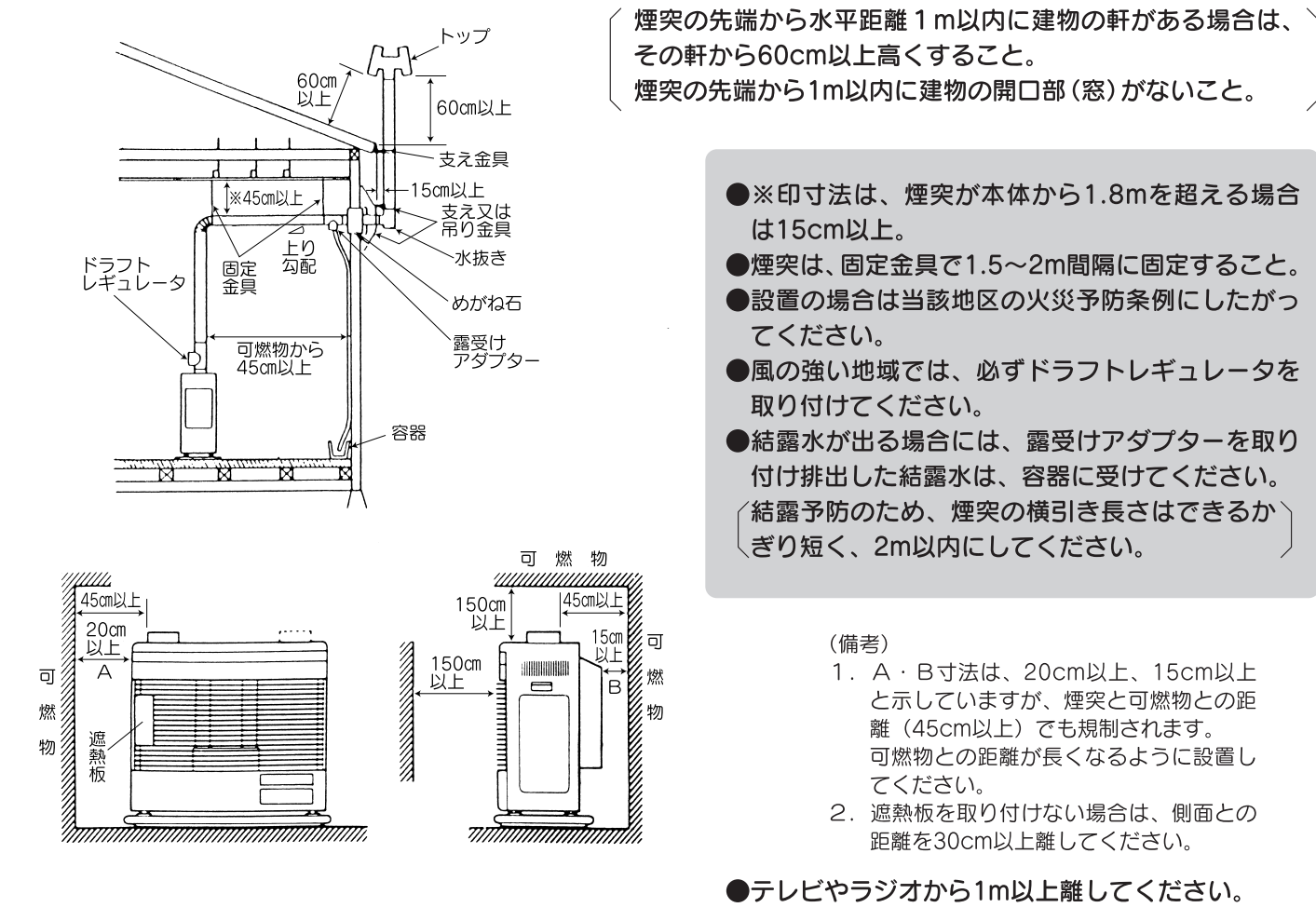
据付けや移設工事は販売店または、据付業者に依頼し、お客様ご自身ではおこなわないでください。

据付け場所の選定及び標準据付け例

据付けについては、火災予防条例、電気設備に関する技術基準など法令の基準があります。取扱説明書（工事編）の「特に注意していただきたいこと(安全のために必ずお守りください)」をお読みになり、販売店または据付業者とよくご相談してください。また、「標準据付け例」については、下図を参照してください。

■標準据付け例

ストーブの据付けは下図を満足させる位置に取り付けてください。



据付け後の確認

据付けが完了しましたら、もう一度、取扱説明書（工事編）の「特に注意していただきたいこと（安全のために必ずお守りください）」をお読みになり、取扱説明書（工事編）に記載されているとおり据付けられているかどうかを確認してください。

試 運 転

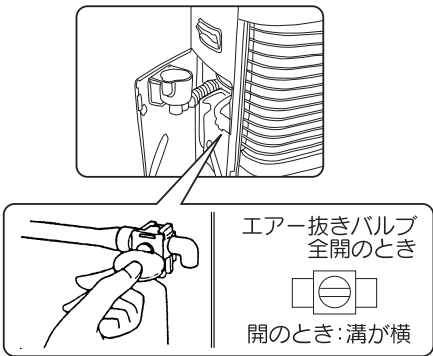
試運転は販売店または据付業者とご一緒に必ずおこなってください。

■ 運転準備

- **⚠注意** 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。
- 油タンクに給油し、送油経路の空気抜きをしてください。（8ページ）
- 送油経路やストーブより油漏れがないか確認してください。
- 配管途中にバルブなどがある場合には、全開にしてください。
- 定油面器をセットしてください。（8ページ）

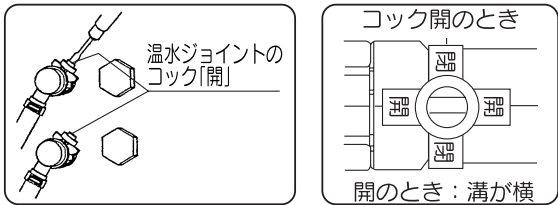
■ 循環液の給水方法 **（UH-7711PR）**

- 1. 給水前にエア－抜きバルブが全開になっていることを確認してください。
（工場出荷時には全開になっています。）

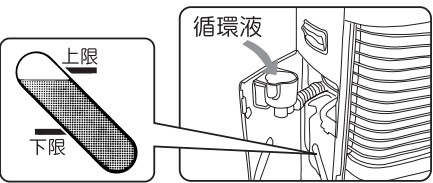


- 2. 両方の温水ジョイントのcockを「開」にしてください。

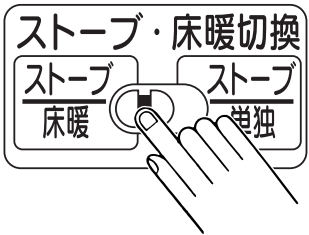
- 配管途中にバルブがある場合は、バルブを全開にしてください。
- 水漏れがあった場合は、循環ポンプを停止させてください。床暖切換スイッチを「ストーブ単独」に切り換えることにより停止させることができます。



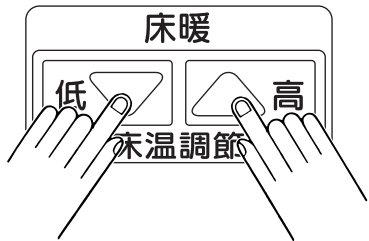
- 3. シスターンタンクの上限水位まで循環液を入れてください。



- 4. 操作部の床暖切換スイッチを「ストーブ床暖」に合わせてください。

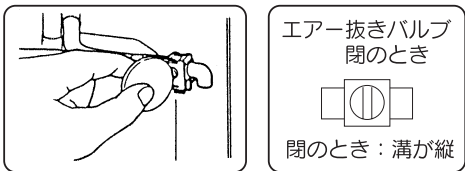


- 5. 操作部の床温調節ボタン「高」「低」を5秒間押し続けてください。
 - 循環ポンプが運転を開始します。
 - 表示部の設定床温表示ランプが点滅します。



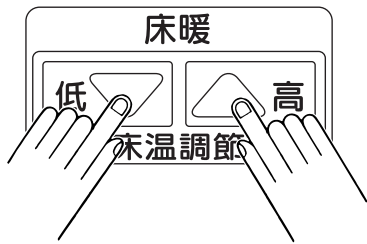
- 6. シスターンタンクの水位が下がるので上限水位まで循環液を給水してください。
（シスターンタンクの水位が下がらなくなるまで給水を行ってください。）

- 7. シスターンタンクの水位が下がらなくなったらエア－抜きバルブを必ず「閉」にしてください。

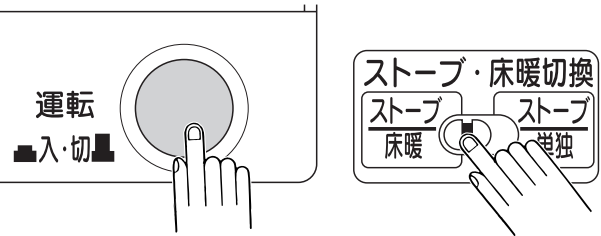


- 8. 温水配管路に水漏れのないことを確認してください。

- 9. 水漏れのないことを確認したら給水は完了です。
 - 操作部の床温調節ボタン「高」「低」を同時に押してください。循環ポンプが停止します。
 - 表示部の設定床温表示が消灯します。



■ 運転 ※印はUH-7711PRのみ対象です。

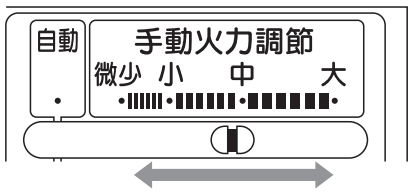


- ※ 1. 床暖切換スイッチを「ストーブ床暖」にセットしてください。

- 2. 運転スイッチを押して「入」にしてください。
 - 約3～4分間の予備燃焼が終わると本燃焼になります。

- ※ 3. 温水配管経路に水漏れのないことを確認してください。

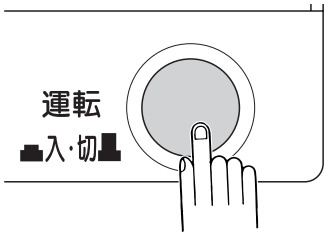
- ※ ● 運転の途中で温水配管経路に水漏れがあった場合
 - ① 操作部の床暖切換スイッチを「ストーブ単独」に切り換えて循環ポンプを停止させてください。
 - ② 運転スイッチを押して「切」にしてストーブの運転を停止してください。



- 4. 異常がなければ、火力調節つまみを「微少」～「大」に設定してください。
 - 燃焼中の炎に黄色い炎（赤火）が混じったり、かたよったり、上下変動することがありますが、異常ではありません。

- 5. 床暖パネルが暖くなることを確認してください。
 - 正常運転の目安として「故障・異常の見分け方と処置方法」（25～26ページ）のような現象のないことを確認してください。

■ 消火の手順 ※印はUH-7711PRのみ対象です。



- 運転スイッチを押して「切」にしてください。運転ランプが消灯します。燃焼室が冷却すると約10分後に燃焼用送風機、※循環ポンプが停止します。

お願い

- 長期間の保管後、再び設置する場合も「試運転」の手順に従い、試運転をおこなってください。

初めてお使いになるときの注意

- 初めてお使いになるときは、耐熱塗料などが焼き付くまで煙と臭いが出ます。このような場合は、お部屋の窓を少し開け、半日から1日程度「大火力」運転をしてください。また、小鳥や小動物などに影響する場合がありますので、この間は部屋に入れないでください。

1.特に注意していただきたいこと（安全のために必ずお守りください）

この工事説明書には、安全に正しく据付けていただくために、いろいろな絵表示が記載されています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みになり据付工事をおこなってください。



警告 この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が、死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が、傷害を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は注意を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容(左図の場合は一般的な注意)が描かれています。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。



●記号は行為を指示する内容を告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。

警告

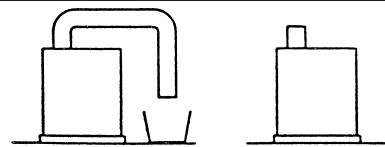
●据付けや移設は、販売店または据付業者が行ってください。

お客様ご自身で据付けをされ、不備があると感電や火災の原因になります。

●据付けは火災予防条例、電気設備に関する技術基準など法令の基準を守って行ってください。

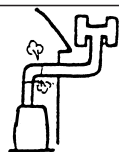
●屋内排気禁止

屋内に排気すると、排ガスが室内に充満して危険です。
必ず屋外に排気してください。



●煙突を確実に接続

煙突を確実に接続し、しっかりと固定してください。風、振動、衝撃などで外れたりすると運転中に排ガスが室内に漏れて危険です。



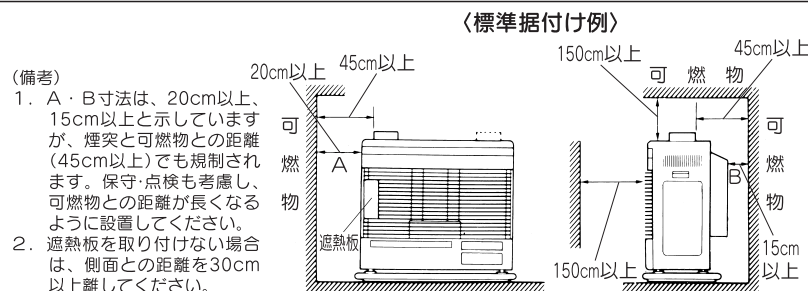
注意

●次の場所には据付けない 火災や予想しない事故の原因になります

- ・水平でない場所、不安定な場所
- ・不安定な物をのせた棚などの下
- ・可燃性ガスの発生する場所またはたまる場所
- ・燃焼に必要な空気を取り入れる空気取入口のない場所または換気の行えない場所
- ・付近に燃えやすいものがある場所
- ・階段、避難口などの付近で避難の支障となる場所
- ・防火対策をしていないマントルピース
- ・温室、飼育室など人のいない場所

●可燃物との距離を離す

- ・ストーブ及び煙突から周囲の可燃物までの離隔距離は火災予防条例で規定されています。図のようにしてください。また可燃物側には必ず前面ガードに遮断板を取り付けてください。
- ・ストーブは付属の置台の上に据付けてください。

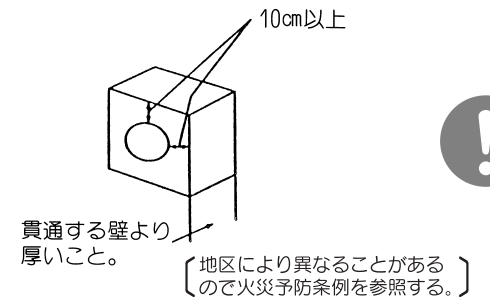


1.特に注意していただきたいこと（安全のために必ずお守りください）

注意

●家屋貫通部の注意

- ・煙突が可燃性の壁などを貫通する部分は必ずめがね石を使用してください。
- ・小屋裏、天井裏などにある部分は金属以外の不燃材料で防火上有効な被覆を行ってください。
- ・可燃性の壁・天井・小屋裏・天井裏などを貫通する部分及びその付近では煙突の接続はしないでください。

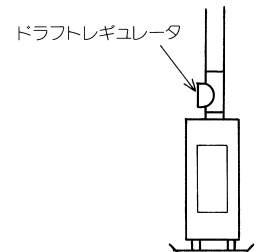


●煙突の固定

- ・煙突は、風や振動などで倒れないよう支え金具や支え線などで固定してください。
- ・煙突は、1.5～2mおきに固定金具で固定し、自重を支える部分は支えまたは吊り金具で堅固に支持してください。

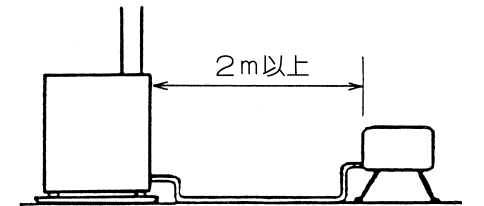
●ドラフトレギュレータの取り付け

- ・煙突の引き（ドラフト）が強いと燃焼不良が発生します。次の煙突設置の場合は必ずダブルドラフトレギュレータ（別売品DR-1）を取り付けてください。
- ・集合煙突に接続する場合・標準寸法以上に立ち上がりが高い場合
- ・風が強くて炎が沈むような場合



●油タンクとの距離を離す

- ・油タンクは、ストーブとの間に防火上有効な壁などが無い場合は、2m以上離してください。
- ・屋内の床置き式の油タンクは、畳やじゅうたんの上は避け、不燃材の床の上に据付けてください。



●ゴム製送油管の屋外使用禁止

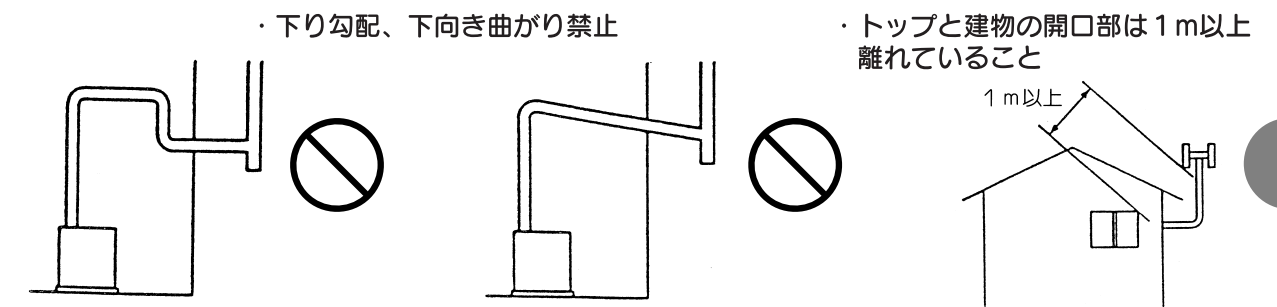
ゴム製送油管は屋外で使用しないでください。
ひび割れを生じて油漏れの原因になります。

●アース工事をする事 (UH-7711PR)

アース工事を確実に行ってください。
故障や漏電のときに感電するおそれがあります。

●煙突の点検

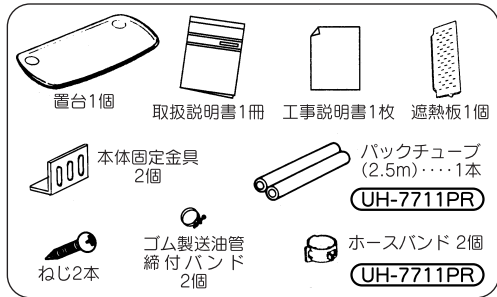
据付けが終わったら、もう一度点検してください。
次のような取付けは、危険であったり、不完全燃焼をおこすおそれがあるので、必ず修正してください。



2.開こん

- ダンボール箱からストーブを取り出し、パッキン材・テープ・ちらし類などを取り除いてください。
- 梱包箱には、次の付属品が入っていますので確認してください。

部 品 名	個数	用 途
置 台	1	ストーブの下に敷く
本体固定金具(ねじ2個)	2	ストーブと置台の固定
ゴム製送油管締付バンド	2	ゴム製送油管接続部の締付け
遮 熱 板	1	ストーブから側面可燃物までの離隔距離が短い場合、前面ガードに取り付ける
取 扱 説 明 書	1	お客様用ストーブ取り扱いの説明書
工 事 説 明 書	1	ストーブと床暖パネル設置工事説明書 (UH-7711PR)
バックチューブ・ホースバンド(2個)	1	床暖パネル接続用 (UH-7711PR)



3.据付け

据付け場所の選定

据付けについては火災予防条例、電気設備に関する技術基準など法令の基準があります。33～34ページの「特に注意していただきたいこと(安全のために必ずお守りください)」をお読みになり、販売店または据付業者とよくご相談してください。また、「標準据付け例」については、33ページ、また、「煙突の取付け」については36～38ページを参照してください。

■性能維持のための空間

ストーブは燃焼用空気が必要です。火災予防または性能維持のためにもあまり狭い場所で使用せず、換気しやすい場所で使用してください。

■電気コンセントの位置

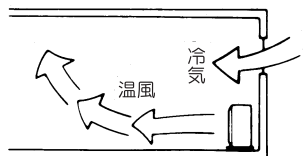
歩行者が電源コードを引っかけない位置にある専用コンセント(AC100V)をご使用ください。(電源コードの長さは約2mです)電源コードが煙突などの高温部にふれない位置を選定してください。

■標高は1000mを超える高地では使用しないでください。

空気の濃度が薄いため、燃焼に必要な空気が不足します。

■効果的に使用するために

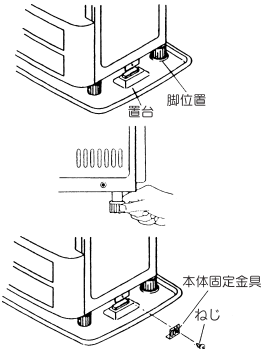
冷気の入ってくる方向、例えば窓側などに置くと、冷気がストーブで温められ温風として対流しますので、効果的です。



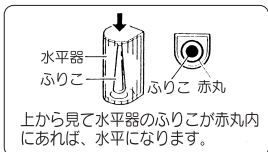
据付け方法

■置台の取付けと水平調節

ストーブの下には必ず置台を使用し、ストーブを水平に据付けて必ず置台と固定してください。



- ストーブの後側の調節脚が置台の脚位置(2カ所)に、一致するように設置してください。
- 水平器を真上から見ながら4個の調節脚を調節してストーブを水平に据付けてください。



- 本体固定金具をストーブの側面から、置台の引っ掛け部に差し込み、付属のねじでストーブに固定してください。固定は、両側面2カ所です。

■ルームサーモ

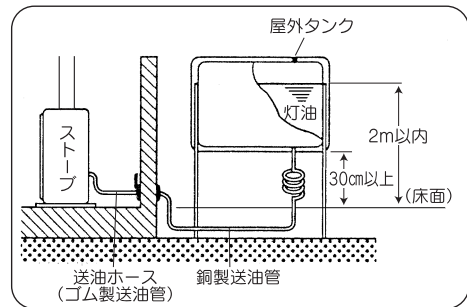
- ルームサーモはストーブの背面に固定されています。設置場所および煙突の設置によっては、ルームサーモが室温を正しく感知できないことがあります。このような場合は、延長ルームサーモ(別売品RTH-2P)をご使用ください。

3.据付け

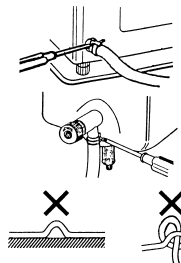
■油タンクの組立てと据付け(別売品)

- 組立ては油タンク付属の取扱説明書に従っておこなってください。
- 油タンク油面はストーブ本体設置床面より高さを30cmから2m以内で設置してください。
- 油タンクの据付けについては、各地区の火災予防条例に従ってください。

- 油タンクは、ストーブとの間に防火上有効な壁がない場合は、2m以上離してください。火災の原因になります。
- 油タンクは、油タンク内の油面がストーブ設置床面より2m以上高くなるところには据付けないでください。油が定油面器よりあふれ出ることがあります。



■ゴム製送油管の取り付け方



- ゴム製送油管にゴム製送油管締付バンドをはめてから、油タンクとストーブのゴム管口に十分押しこみ、ゴム製送油管締付バンドで強く締め付けてください。

- ゴム製送油管は、JIS-S3022「石油燃焼機器用ゴム製送油管」に合格したもの以外は使用しないでください。

- ゴム製送油管の途中が平になるようにしてください。

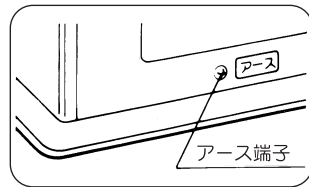
- ⚠注意** ゴム製送油管を屋外では使用しないでください。
- ゴム製送油管は、JIS-S3022「石油燃焼機器用ゴム製送油管」に合格したもの以外は使用しないでください。
- ゴム製送油管は、きつく曲げたり、丸めたりしないでください。

■金属配管(銅製送油管)施工の場合の注意

- 定油面器へのごみの侵入を防ぐため、配管工事終了後、ストーブと接続する前には必ず配管内に灯油を流して切粉・ごみなどを取り除いてください。

■接地(アース)(UH-7711PR)

- ストーブの背面下部にあるアース端子を使用してください。接地工事はD種接地工事をおこなってください。



■床暖パネルを敷設しないとき(UH-7711PR)

- 床暖切換スイッチは必ず「ストーブ単独」にセットして使用してください。

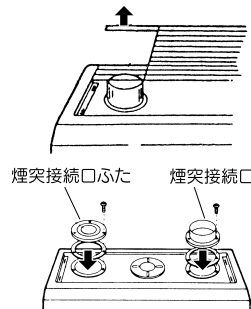
■電気配線

- テレビやラジオから1m以上離してください。
- 電源プラグは、必ず適正配線された单相100Vのコンセントに差し込んでください。

■煙突の左右を変更する場合

煙突の左右を変更する場合は、次のようにおこなってください。

1. 上面ガードを外してください。
2. 煙突接続口を固定している3本のねじを外し、中のパッキンを損傷ないように煙突接続口を外してください。
3. 煙突接続口ふたを固定している3本のねじを外し、中のパッキンを損傷ないように煙突接続口ふたを外してください。
4. 組込みは逆の要領で組み換えてください。



煙突接続口、パッキン及び煙突接続口ふたは取り付けの方向性があります。取り付け用のねじの位置を確かめて取り付けてください。

4.煙突の取付け

■煙突の径

- 煙突は直径106mm(3寸5分)を使用してください。

4.煙突の取付け

■横引き、立ち上がりの標準寸法

- 煙突の立ち上がり、横引きの標準寸法は、立ち上がり約3.6m(4本)、横引き約1.8m(2本)です。横引きが標準寸法より長くなる場合は、その長さの1/2を立ち上がりに追加してください。(結露予防のため、煙突の横引き長さはできるかぎり短く、2m以内にしてください。)
- 屋外の立ち上がり部の下端には、水抜きをつけて雨水が入るのを防いでください。
- 横引きは10分の1以上の上り勾配になるようにしてください。
- 横引きはできるだけ短くし、ベンド(エビ曲)は3個以下になるようにしてください。また、露受けアダプター(別売品)などの取り付けもご検討ください。工事店とよくご相談ください。
- 1本の煙突を他のストーブなどと共用することは避けてください。燃焼が悪くなります。

■煙突先端(トップ)の位置

- 煙突トップは、屋根面から垂直距離60cm以上離してください。
- 煙突トップから水平距離1m以内に隣接家屋などの軒があるときは、さらにそれより、60cm以上離してください。
- 窓などの開口部からは1m以上離してください。
- 煙突トップの位置は建物・立木などの状態をみて、あらゆる方向の風が通り抜ける位置にしてください。

■トップの形状

- 煙突トップには、逆風防止のための「傾斜H型トップ」を取り付けてください。

■ドラフトレギュレータ(別売品)の取付け

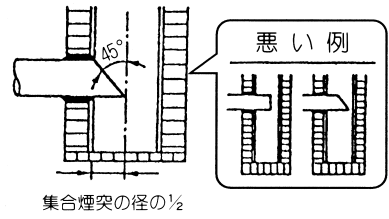
- ⚠注意** 煙突の引き(ドラフト)が強いと燃焼不良が発生します。

次の煙突設置の場合は必ず、ダブルドラフトレギュレータ(別売品DR-1)を取り付けてください。

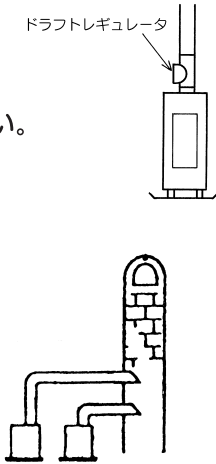
- 集合煙突に接続する場合
- 標準寸法以上に立ち上がりが高い場合
- 風が強くて炎が沈むような場合

■集合煙突を利用する場合のご注意

- 集合煙突に差し込む先端は右図のようにしてください。

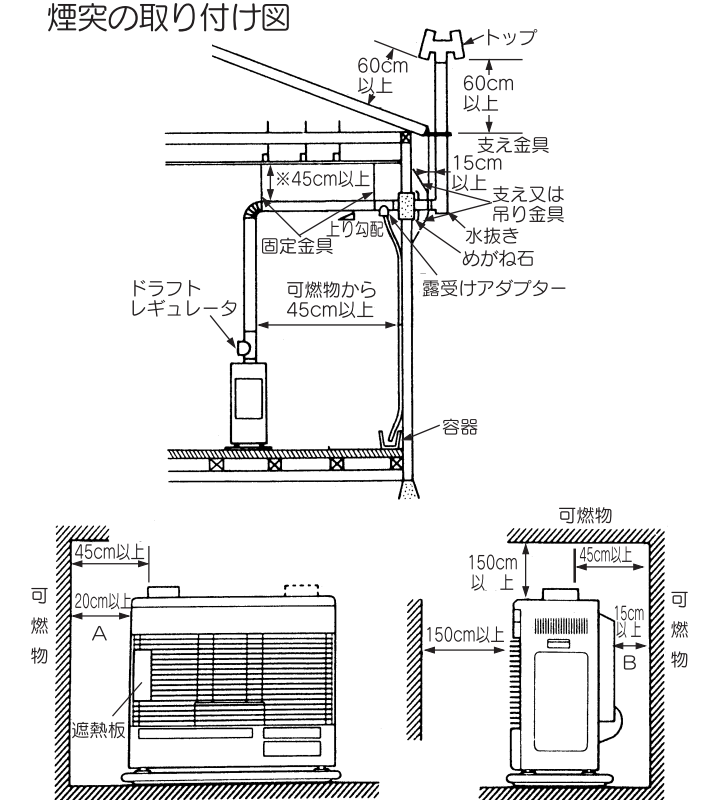


- 2つ以上のストーブを使用するときは、横引部分の長い方を上にしてください。



- 集合煙突を利用する場合は、設置方法などについて必ず専門業者にご相談してください。

■煙突の取り付け図



〔煙突の先端から水平距離1m以内に建物の軒がある場合は、その軒から60cm以上高くすること。煙突の先端から1m以内に建物の開口部(窓)がないこと。〕

- ※印寸法は、煙突が本体から1.8mを超える場合は15cm以上。
- 煙突は、固定金具で1.5~2m間隔に固定すること。
- 設置の場所は当該地区の火災予防条例にしたがってください。
- 風の強い地域では、必ずドラフトレギュレータを取り付けてください。
- 結露水が出る場合には、露受けアダプターを取り付け排出した結露水は、容器に受けてください。

〔結露予防のため、煙突の横引き長さはできるかぎり短く、2m以内にしてください。〕

- (備考)
- 1.A・B寸法は、20cm以上、15cm以上と示していますが、煙突と可燃物との距離(45cm以上)でも規制されます。可燃物との距離が長くなるように設置してください。
 - 2.遮熱板を取り付けない場合は、側面との距離を30cm以上離してください。

4.煙突の取付け

■結露水の処理

- 煙突の横引き部に結露水が出る場合は、別売の露受けアダプター(USB-1)また、集合煙突の凍結予防には集合煙突凍結防止ヒータ(USB-3)をご使用ください。お買い求めの販売店または、お近くのコロナサービスセンターにご相談ください。

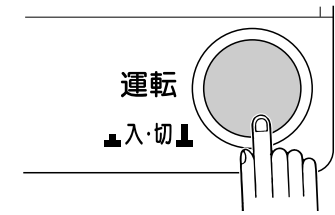
5.試運転

試運転は使用者とご一緒に必ずおこなってください。

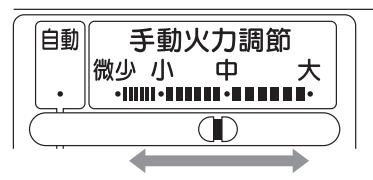
■運転準備

- ⚠注意** 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。
- 油タンクに給油し、送油経路の空気抜きをしてください。(8ページ)
- 送油経路やストーブより油漏れがないか確認してください。
- 定油面器をセットしてください。(8ページ)
〔定油面器リセットレバーを下に押し下げてください。〕

■運転



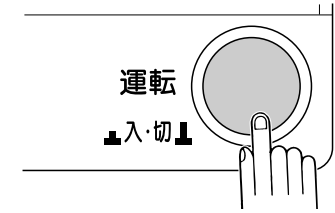
1. 運転スイッチを押して「入」にしてください。



- 3~4分間の予備燃焼が終わると本燃焼になります

2. 異常がなければ、火力調節つまみを「微少」~「大」に設定してください。
- 正常運転の目安として「故障・異常の見分け方と処置方法」(25~26ページ)のような現象のないことを確認してください。

■消火の手順



- 運転スイッチを押して「切」にしてください。
運転ランプが消灯します。
燃焼室が冷却すると約10分後に燃焼用送風機が停止し、時刻表示以外のすべてのランプが消灯します。

■お願い

- 正常運転しない場合は、25~26ページ「故障・異常の見分け方と処置方法」を参照してください。
- 長期間の保管後、再び設置する場合も「試運転」の手順に従い、試運転をおこなってください。

■初めてお使いになるときの注意

- 初めてお使いになるときは、耐熱塗料などが焼き付くまで煙と臭いが出ます。このような場合は、お部屋の窓を少し開け、半日から1日程度「大火力」運転をしてください。また、小鳥や小動物などに影響する場合がありますので、この間は部屋に入れないでください。

6.廃棄するときの注意

- ストーブを廃棄処分するときは、定油面器の灯油を抜き取ってください。
灯油が入ったまま廃棄するとリサイクルの際に思わぬ事故になるおそれがあります。

お客様ご相談窓口一覧表

修理サービスや製品についてのご相談は機種名をご確認の上、お買いあげの販売店または下記のご相談窓口にご依頼ください。

ご転居やご贈答品などでお困りの場合は、下記のお近くの窓口にご相談ください。

名称、所在地、電話番号は、変更する場合がありますのでご了承ください。

●アフターサービスのお問い合わせは下記へどうぞ

コロナサービスセンター



0120-919-302
(修理受付専用ダイヤル)

FAX 0120-919-322

携帯電話・PHS等からは
最寄のサービスセンター
へ直接おかけください。

北海道地区	札幌サービスセンター 札幌市白石区平通16丁目南1-19 札幌市白石区米里3条2丁目6-25 函館市西栲栳町21-2 旭川市東旭川南1条2丁目2-5 帯広市西18条北1丁目17-1 釧路市花園町4-17 北見市美芳町9-1-30	〒003-0028 〒003-0873 〒041-0824 〒078-8261 〒080-0048 〒085-0038 〒090-0064	TEL(011)864-0440(代表) TEL(011)879-2121(代表) TEL(0138)48-6070(代表) TEL(0166)37-2330(代表) TEL(0155)35-7518(代表) TEL(0154)24-4191(代表) TEL(0157)26-2103(代表)	FAX(011)863-3154 FAX(011)871-2400 FAX(0138)48-6080 FAX(0166)37-2338 FAX(0155)35-7510 FAX(0154)24-0451 FAX(0157)26-2107
東北地区	青森サービスセンター 青森市古館1丁目12-38 秋田サービスセンター 秋田市泉中央4丁目4-18 秋田市外旭川三千刈109-1 仙台サービスセンター 仙台市青葉区4丁目4-7 弘前サービスセンター 弘前市田園1-2-1 盛岡サービスセンター 盛岡市門2-1-42 盛岡サービスセンター 盛岡市門2-1-42 奥州市水沢区水沢工業団地4丁目79 仙台サービスセンター 仙台市宮城野区日ノ出町1-7-32 仙台市宮城野区日ノ出町1-7-31 郡山市亀田1-51-9 山形市東青田3-6-28 酒田市錦町1-183-1	〒030-0946 〒030-0946 〒010-0917 〒010-0802 〒031-0073 〒031-0073 〒036-8086 〒036-8086 〒020-0823 〒020-0823 〒023-0002 〒983-0035 〒983-0035 〒963-8033 〒990-2423 〒998-0103	TEL(017)742-8255(代表) TEL(017)743-2971(代表) TEL(018)864-5671(代表) TEL(018)864-5219(代表) TEL(0178)24-5289(代表) TEL(0178)47-6609(代表) TEL(0172)28-3910(代表) TEL(0172)26-4770(代表) TEL(019)622-4791(代表) TEL(019)604-0281(代表) TEL(0197)22-4155(代表) TEL(022)235-3181(代表) TEL(022)783-1791(代表) TEL(024)938-2240(代表) TEL(023)642-3255(代表) TEL(0234)31-0571(代表)	FAX(017)742-8275 FAX(017)743-1118 FAX(018)864-8468 FAX(018)864-5760 FAX(0178)45-4290 FAX(0178)71-1344 FAX(0172)28-0191 FAX(0172)29-1133 FAX(019)622-5244 FAX(019)604-0283 FAX(0197)22-4452 FAX(022)236-8810 FAX(022)783-1792 FAX(024)938-3021 FAX(023)642-3254 FAX(0234)31-0581
関東地区	首都圏サービスセンター 東京都豊島区8-4-8 東京都豊島区8-4-8 東京都豊島区8-4-8 立川市高松町1-22-3 松戸市高塚新田95-5 横浜市戸塚区原宿4丁目7-13 山梨県中巨摩郡昭和町西条2491-2 さいたま市北区宮原町1-674-2 さいたま市北区宮原町1-674-2 高崎市岡屋町西1-3-22 宇都宮市栗瀬町2313 太田市高林東町2375 水戸市笠原町653-2 つくば市谷部6788-19	〒114-0003 〒114-0003 〒114-0003 〒190-0011 〒270-2222 〒245-0063 〒409-3866 〒331-0812 〒331-0812 〒370-0007 〒321-0933 〒373-0825 〒310-0852 〒305-0861	TEL(03)3927-1151(代表) TEL(03)3911-1131(代表) TEL(03)3927-1152(代表) TEL(042)519-5271(代表) TEL(047)312-8330(代表) TEL(045)852-4008(代表) TEL(055)268-1567(代表) TEL(048)651-1722(代表) TEL(048)651-1231(代表) TEL(027)361-4806(代表) TEL(028)632-5105(代表) TEL(0276)38-6571(代表) TEL(029)241-2172(代表) TEL(029)839-5325(代表)	FAX(03)3927-1160 FAX(03)3927-1130 FAX(03)3927-1160 FAX(042)528-2382 FAX(047)312-8338 FAX(045)852-5540 FAX(055)268-1569 FAX(048)651-6370 FAX(048)651-6370 FAX(027)361-9139 FAX(028)632-5205 FAX(0276)38-5508 FAX(029)241-4268 FAX(029)836-1913
信越・北陸地区	新潟サービスセンター 三条市曲淵3-2-15 三条市曲淵3-2-15 新潟市東区江南1-6-41 長野市大豆島5312 松本市笹賀大久保原7852 金沢サービスセンター 金沢市駅西新町1-1-25 金沢市駅西新町1-1-25 富山市田中町2-3-15 福井市和田東1-607	〒955-0864 〒955-0864 〒950-0855 〒381-0022 〒399-0033 〒920-0027 〒920-0027 〒930-0985 〒918-8237	TEL(0256)32-2126(代表) TEL(0256)32-2129(代表) TEL(025)286-9131(代表) TEL(026)221-5111(代表) TEL(0263)26-0051(代表) TEL(076)260-0567(代表) TEL(076)260-0038(代表) TEL(076)444-0567(代表) TEL(0776)23-0567(代表)	FAX(0256)35-8519 FAX(0256)32-2137 FAX(025)286-3313 FAX(026)221-0039 FAX(0263)25-9961 FAX(076)260-0775 FAX(076)260-0738 FAX(076)444-0611 FAX(0776)23-0580
東海地区	名古屋サービスセンター 名古屋市中区栄16-11 名古屋市中区栄16-11 静岡市駿河区高松2-15-30 岐阜市六条南2-7-8 津市高茶屋3-29-38 沼津市西椎路888-1	〒456-0004 〒456-0004 〒422-8034 〒500-8358 〒514-0819 〒410-0303	TEL(052)746-6600(代表) TEL(052)746-6603(代表) TEL(054)238-0005(代表) TEL(058)268-7555(代表) TEL(059)234-8471(代表) TEL(055)968-6210(代表)	FAX(052)884-6551 FAX(052)884-6554 FAX(054)238-0006 FAX(058)268-7550 FAX(059)234-8472 FAX(055)968-6212
近畿・四国地区	大阪サービスセンター 吹田市南金田1-8-47 吹田市南金田1-8-47 高松市多里町1-8-5 京都市伏見区竹田段ノ川原町70-1 神戸市西区枝吉5-132 彦根市正法寺町南出78 福知山市荒河東町68 松山市西垣生町780-3	〒564-0044 〒564-0044 〒760-0078 〒612-8414 〒651-2133 〒522-0024 〒522-0024 〒620-0061 〒791-8044	TEL(06)6380-2111(代表) TEL(06)6386-5670(代表) TEL(087)835-1711(代表) TEL(075)643-2002(代表) TEL(078)922-2431(代表) TEL(0749)24-6239(代表) TEL(0773)22-0827(代表) TEL(089)968-7351(代表)	FAX(06)6386-7262 FAX(06)6386-5588 FAX(087)835-0160 FAX(075)643-0870 FAX(078)922-2438 FAX(0749)26-2116 FAX(0773)23-7592 FAX(089)968-7353
中国地区	広島サービスセンター 広島市安佐南区祇園3-27-20 広島市安佐南区祇園3-27-20 岡山市北区辰巳35-103 米子市日久美町235-1 周南市徳山字一ノ井手5631-4	〒731-0138 〒731-0138 〒700-0976 〒683-0035 〒745-0882	TEL(082)871-3310(代表) TEL(082)871-3315(代表) TEL(086)243-7751(代表) TEL(0859)33-8157(代表) TEL(0834)22-5567(代表)	FAX(082)871-3306 FAX(082)871-0272 FAX(086)243-7191 FAX(0859)23-0709 FAX(0834)22-5589
九州地区	福岡サービスセンター 福岡市博多区東比恵2-2-40 福岡市博多区東比恵2-2-40 北九州市小倉北区菱沼2-6-4 鹿児島市上7-16-5 熊本県上1-11-12 長崎県西彼杵郡時津町左底郷浜田74-1 宮崎市霧島3-59-2 大分市二佐1-19-7	〒812-0007 〒812-0007 〒803-0828 〒890-0034 〒862-0913 〒851-2106 〒880-0032 〒870-0108	TEL(092)474-5771(代表) TEL(092)474-6001(代表) TEL(093)592-8611(代表) TEL(099)281-1321(代表) TEL(096)367-7361(代表) TEL(095)882-7710(代表) TEL(0985)29-1680(代表) TEL(097)523-5161(代表)	FAX(092)474-5775 FAX(092)474-6414 FAX(093)592-8666 FAX(099)281-1252 FAX(096)369-6323 FAX(095)882-7767 FAX(0985)25-0685 FAX(097)523-5162
沖縄地区	沖縄営業所 宜野湾市宇地泊738 シーサイド・パーク102	〒901-2227	TEL(098)897-5677(代表)	FAX(098)897-5679

12041102

本社・工場 三条市東新保7-7 〒955-8510 TEL(0256)32-2111(大代表)
柏崎工場 柏崎市宝町2-58 〒945-0817 TEL(0257)23-5175(代表)
長岡工場 長岡市下条町倉ノ浦1069 〒940-1146 TEL(0258)22-2121(代表)

株式会社 **コロナ**

ホームページ <http://www.corona.co.jp/>